

EVENT



学校説明会

4/29 FRI
-3/12 SUN

学科説明からキャリア相談まで
学校・学科についての説明会と施
設見学。アドバイザーが親切丁寧
に対応いたします。

体験入学会

6/12 SUN
-3/20 MON

カナブンの体験授業イベント!
午前中は学校説明や学校案内で
学校を知って、ランチの後は多彩
な全 14 講座から好きなコースを1
つ選んで学びや実習をじっくり体
験できます。

ファッションセミナー

SPRING 5/22 SUN
SUMMER 7/24 SUN
8/21 SUN

金沢文化服装学院ってどんなところ?
学校説明・在校生によるプレゼン
テーション・卒業生によるトークイ
ベント・ファッションショーとカナ
ブンを盛りだくさんな一日を体感でき
ます。

BUNKA Fes!

10/29 SAT

片町きららステージにてファッショ
ンショーや当日限定のショップ、も
ちろん学校説明ブースもあります。
夕方からはファッションフェスタを
開催予定!

BFR

(BUNKA FASHION RENAISSANCE)

2月開催予定

作品を発表するメインイベント!
作品の展示からファッションショー
までカナブンの学びの集大成が
集約された金沢文化服装学院の学
生にとって年間で最大のイベント!

最新情報をチェック

CHECK
SNS

LINE 金沢文化服装学院
Twitter @kanazawa_bunka
Instagram @kanazawa_bunka
Facebook 金沢文化服装学院
学生の活躍やファッションスナップ
など情報満載!チェックしてね!

学校法人 金沢文化学園

専門学校 金沢文化服装学院

KANAZAWA BUNKA FASHION COLLEGE

〒921-8032 石川県金沢市清川町 1-5

TEL 076-242-2330

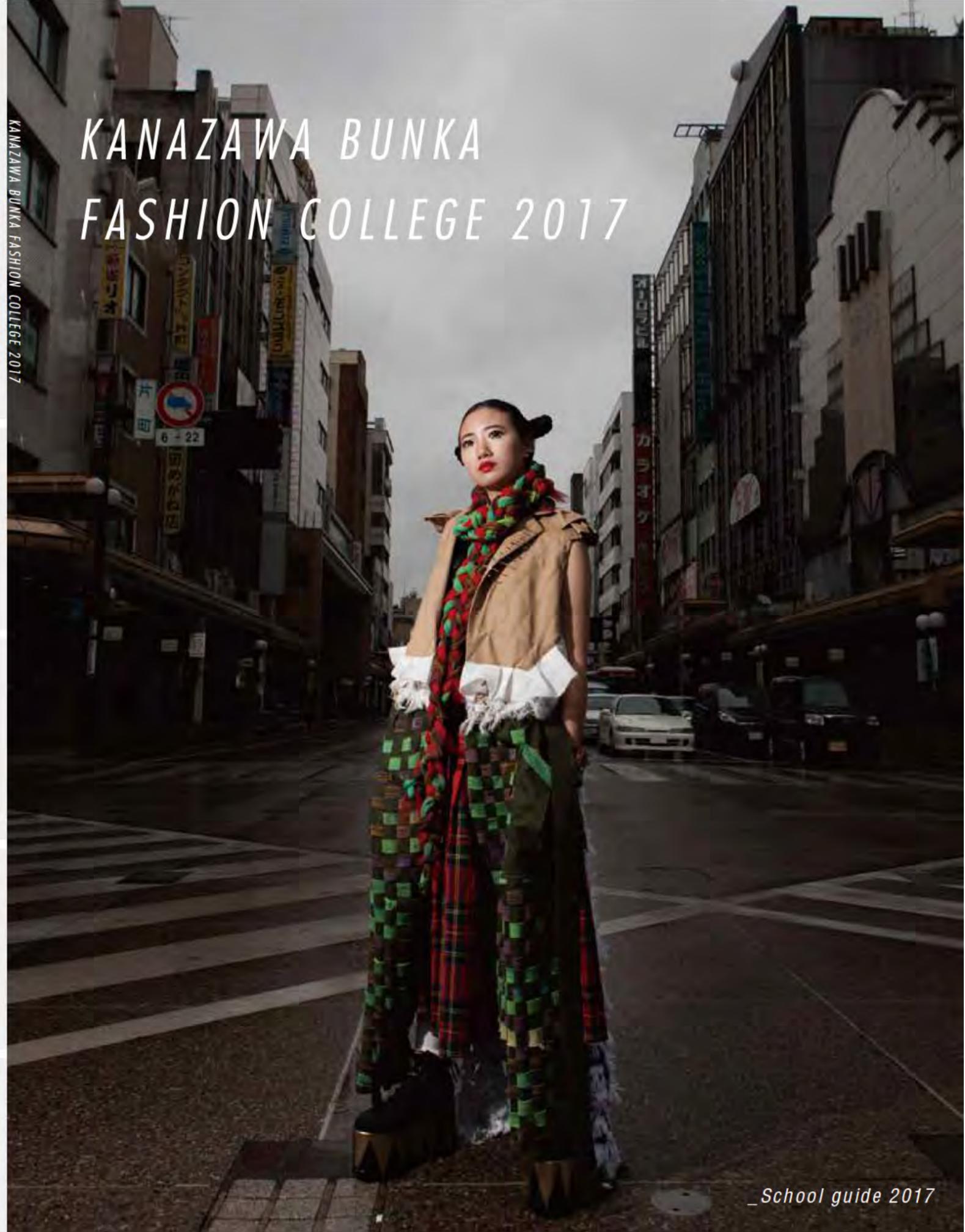
URL <http://www.kanabun.ac.jp>

2016年5月 広報企画室発行



KANAZAWA BUNKA FASHION COLLEGE 2017

KANAZAWA BUNKA FASHION COLLEGE 2017





MAKE ABILITY OF FASHION

好きを実力に

自分が大好きなことなら、誰にも負けにくいガンバれる。
そう思いませんか？

ファッションは競争。
ガンバラなければ勝てない、勝てなくては夢はつかめない。
たくさんガンバった人が勝つ。

あなたの大好きなファッションで、人一倍ガンバれたら
「誰にも負けにくい自分らしいあなた」になれるはず。

ファッションの仕事は、
誰よりもガンバる覚悟のできない人にはすすめられません。

金沢文化服装学院は、
誰よりもガンバることを決めたあなたに、
ガンバリ方を教えてくれる講師がいる
ファッションデザインとファッションビジネスの専門学校です。



contents

学校紹介 01

ファッションの仕事 07

学科紹介 09

アパレル造形デザイン科（3年制） 11

アパレル造形デザイン科（2年制） 17

ファッションビジネス科 23

ファッションクリエイティブ科 29

キャンパスライフ 33

学院長・教員紹介 43

進路 45

金沢で学べるという価値 49

講師メッセージ 51

卒業生メッセージ 61

アクセス 68

EDUCATIONAL POLICY

社会・企業から歓迎される人材の育成

金沢文化服装学院では
『社会・企業から歓迎される人財の育成』を教育方針としています。
現在のファッション業界では、
ただ専門知識・専門技術・資格を身に付けているだけでは不十分です。
本校には社会・企業から歓迎される人財になるための
環境・仕組みが揃っています。



創立 61 年の伝統と実績

1955年に創立した本校は、時代の変化に合わせ、カリキュラム内容の充実をはかり、ファッション業界にたくさんの優れた人材を送り出してきました。これまで培ってきた伝統と実績による豊富なカリキュラムや就職実績などは、ファッション業界から高い信頼を得ています。



講師はすべて現場経験者

本校の講師はそれぞれの業界での現場経験を3年以上積んでいるプロばかりです。ですから業界直結の講義演習が可能なのです。そうしたプロでしか知り得ない業界の楽しさ・厳しさといった、現場での経験を学生に伝えることが次世代のファッション業界を支える人材育成の第一歩と考えています。



少人数クラス担任制

少人数のクラス編成で各クラスには担任がつくので、一人ひとりにきめ細かな指導が可能です。服飾造形などの実技演習がメインの授業では、講師を2名配置する場合があります。マンツーマン体制で学生からの質問に即対応できるように配慮しています。



SWOT TIME (努力の時間) 制度

「もっとここが知りたい!」「まだここが理解できない!」といった学生のために毎日授業終了後、18時まで講師がマンツーマンで学生の疑問に答えてくれ、21時まで設備を使用できる「SWOT TIME (努力の時間) 制度」を採用しています。



LOCATION

世界有数の繊維生産地、北陸で学ぶ。

世界が注目する
繊維大国北陸

武家文化が根付いた
文化都市

北陸新幹線
開業に伴う発展

古くから繊維産業が盛んな北陸地域には、世界のトップブランドからも多くの注文を受ける、高い技術を持つ企業が集まっています。本校が立地する金沢では世界に誇る金箔や漆などの伝統工芸をはじめ、金沢で独自の発展を遂げた加賀友禅も現代に根付いています。本校はそのような多くの企業と連携して、世界最先端の技術や北陸独自の文化を体験できる課外授業や産地見学を頻繁に行い、学生に地元産業の素晴らしさを伝えています。



COLLABORATION

地域社会や企業との連携

本校では毎年、金沢市主催の“協働のまちづくりチャレンジ事業”をはじめ、金沢市まちなかでのファッションショー、雑貨×作家マーケットなど、ファッションを通し金沢の知名度アップ、そして更なる地域活性化や地産地消の促進を目指す活動をしています。

ファッションの第一線を体感！ 外部講師特別授業

本校では県内外を問わず、ファッション業界の第一線で活躍されている方々を講師としてお招きし、業界最先端の現場が今どうなっているのかを学べる特別講習を通常授業に加えて実施しています。

※以下2016年度までに行った講習の一例です。

- ・ヘアメイクカミオ 副社長 富田さん
- ・東京のセレクトショップ SHINZONE バイヤー 岡崎さん
- ・東京のファッションコワーキングスペース coromoza 運営 西田さん
- ・全国繊維産地とクリエイターを結びつける活動と、ロンドンにて Secori Gallery を運営 宮浦さん
- ・ヴィンテージショップ Corpo Cirus オーナー兼バイヤー 桶田さん(本校卒業生)
- ・金沢のセレクトショップ Epochz オーナー兼バイヤー 小村さん
- ・三越伊勢丹ホールディングス三越日本橋本店 マネージャー 石黒さん
- ・三越伊勢丹ホールディングス バイヤー 越智さん
- ・舞台衣装家 川口さん

- ・押忍!手芸部 部長 石澤さん
- ・金沢の着物屋きもの処 凜屋 代表取締役 若林さん
- ・某ファストファッションブランド マーチャンダイザー 渡部さん
- ・hair salon soixante-deux オーナー/ヘアメイクアップアーティスト 林さん
- ・中小企業診断士 石井さん
- ・日本政策金融公庫 宇佐美さん
- ・ATSURO TAYAMA デザイナー 田山さん
- ・国際ファッション産学推進機構 山地さん

THINK ABOUT FASHION

ファッションの仕事

ファッション業界の仕事は大きく3つの分野に分かれます。それぞれが関わり合い、それぞれの仕事を支えています。

“ファッションをつくる人”は現場の声を聞き、よりお客様のニーズに合わせたモノ作りをしなければなりません。

“ファッションを売る人”はその商品の素材・機能性などを含めた作り手の思いをお客様にしっかり伝える必要があります。

また、“ファッションの魅力を伝える人”は作品を最大限に表現できる服を選ぶこと、そしてその服が一番ステキに見えるように工夫すること。そのためには服飾に関する専門知識や技術だけでなく、感性を磨くことも大切になってきます。

様々な職種に目を向け、学び、自分が進みたい道を一緒に探しましょう。



CREATE ファッションをつくる人

クリエイティブディレクター (CD)

ファッションデザインをメインに広告やショップ展開など、ブランドのイメージ戦略全般を手がけるクリエイターのこと。ブランド全体のトータルなディレクションを行う。

マーチャンダイザー (MD)

ファッションを商品という視点から、トレンドや世の中の動きに合わせて、「売れるもの」を予測し、それに沿った商品を創り出す仕事。調査→商品企画→試作→生産というのが一般的な仕事の流れ。

ファッションデザイナー/企画

ブランドのデザイン全てを統括する人もいれば、ディレクターの指示でデザインする人など、立場によって仕事の内容は様々。大手アパレル企業ではマーチャンダイザーの市場調査に基づいて、トレンドと売れ筋を計算した服をデザインすることが多い。

パタンナー

平面のデザインをもとに、服を立体にするための型紙=パターンをつくる。服づくりのプロセスにおいて、デザインと同等の重要な仕事。

CAD/ グレーター

サイズに合わせた商品をつくるため、パターンを大小の大きさにアレンジしていく。服づくりに関する知識、技術だけでなく、アパレル CAD などのソフトウェアを使いこなせるノウハウも必要。

生産管理

販売計画に基づき、人や設備などから生産能力を計算して、商品の製造までの一連の流れを管理する仕事。工場とのやりとりが多く、生地、パターン、縫製などの幅広い知識が求められる。また現在は、商品を海外生産に頼る企業も多く、語学力があると有利。

テーラー

オーダーメイドでテーラードジャケットやスーツ、シャツを仕立てる高度な技術を持つ職人的クリエイター。

グッズデザイナー/雑貨クリエイター

アトリエやショップなどに勤めて、ファッション小物の制作を行う。フリーランスとして自宅などで活躍する人も。

コスチュームデザイナー

映画や舞台、テレビなどの衣裳デザインにおいて、特に責任ある立場の人。

SELL ファッションを売る人

ファッションアドバイザー

店頭で接客する販売員で、一般的にはファッションアドバイザーと呼ばれる。お客様の好みに合わせた商品選びや、トータルコーディネート提案ができることが重要になる。

バイヤー

主にセレクトショップや百貨店に所属して、さまざまな商品を買付けて販売する。世の中のニーズを把握し、売れる商品を仕入れるのが役割。流行に敏感な感性や売れるものを見極める目、的確な計算能力や交渉力などさまざまな能力が必要とされる。

ビジュアルマーチャンダイザー

店頭ディスプレイを中心に、服の並べ方などショップをビジュアル面でサポートする。ビジュアルコーディネーターとも呼ばれる。

営業/セールス

ビジネス面の全てに関わる仕事。ショップのバイヤーと商談したり、新たな卸先を開拓する。取引先や顧客が求めるアイテムをクリエイティブ部門のスタッフに伝え、商品企画に反映させる役割も担う。

APPEAL 魅力を伝える人

スタイリスト

雑誌、広告、映画などで使われる服を選び、人に着せつけ、ビジュアル面を演出する。多くのスタイリストはタレント、モデル、ミュージシャンなどが仕事のメインだが、個人をスタイリングするパーソナルスタイリストやショップスタイリストとして活躍する人もいる。

プレス

ブランドの広報、宣伝を手がける。プレスとは本来、報道機関のジャーナリストや記者など、取材する側を指す言葉。正確には「プレス担当者」「プレス係」と呼ぶ。

エディター

ファッション雑誌や本、Web など、誌面の企画とディレクションを行う。取材から原稿執筆など仕事内容が多岐に渡る。

モデル

ファッションを生み出すデザイナーの希望に応じて理想の姿を表現する。近年はモデル自身が服をデザインするなど、仕事の幅が広がっている。

GRADUATES WORKS

卒業生の仕事を紹介!



パタンナー

株式会社 クレイワークス (東京) / パタンナー

新潟 利康
石川県立金沢中央高等学校出身
デザイン専攻科 2008年度卒業



パタンナー

株式会社 モンスター (福井) / パタンナー

島田 佳奈
石川県立金沢西高等学校、
石川県農業短期大学 (現:石川県立大学) 出身
アパレル造形デザイン科 2013年度卒業



バイヤー

クールアソング銀座 マロニエゲート本店 (東京) / 銀座店副店長、メンズアシスタントバイヤー

藤田 悠人
遊学館高等学校 (石川県) 出身
デザイン専攻科 2010年度卒業



営業

株式会社ティニアパレーション (東京) / 営業部

森行 守
石川県立金沢北陵高等学校出身
アパレル造形デザイン科卒業 2007年度卒業



ファッションアドバイザー

UNITED ARROWS green label relaxing (東京) / アシスタントプレス

飛山 桃子
富山県立北部高等学校出身
ファッションビジネス科 2012年度卒業



モデル

フリーランス (東京) / モデル

河内 駿
石川県立津幡高等学校出身
ファッションビジネス科 2012年度卒業

※ここに取り上げたものは目標とする職種の一部であり、また主な名称を用いて説明も標準的な内容です。各企業により、同じ名称でも職務内容が異なったり分化化されています。

COURSE

あなたの“好き”という武器は、
知識や技術で
磨きをかける必要がある。

ファッションの仕事で自立するには、知識と技術が必要です。
本校には、ファッション業界で活躍する人材を育成する2つの学科と、
より高度な能力を身につけることのできる2つの専攻科があります。
各々の分野で、あなたの「好きという武器」を磨きあげて下さい。

	1年次	2年次	3年次
服飾造形	アパレル造形デザイン科	アパレルクリエイションコース	技術専攻科
		アパレルテクニカルコース	
		アパレルベーシックコース	
流通ビジネス	ファッションビジネス科	ショップスタイリストコース	卒業
		ショップマネジメントコース	ファッションクリエイティブ専攻科

取得目標資格

本校で学んだ専門知識や専門技術の実力を評価する検定試験が各種あります。自分の目的・目標に合った検定を選び、チャレンジしましょう。

パターンメイキング技術検定

アパレル業界で活躍するパターンナーに要求されるパターンメイキングの専門知識と技術の能力を、試験により評価・認定するものです。

ファッション販売能力検定

ファッション界で販売に関わる分野を目指す方々に、販売実務に必要な知識・技術を身に付けてもらい、その実力をはかる検定です。

ファッションビジネス能力検定

流通・ビジネス分野での仕事に携わっていく際に必要な造形知識や技術、専門知識をどの程度理解・認識しているか、その実力をはかる検定です。

ファッション色彩能力検定

ファッション、デザインなどに関連する仕事をする上で必要な色彩に関する幅広い知識と応用力を証明する就職にも有利な検定試験です。

洋裁技術検定

服飾専門学校で身に付けた知識や技術を、審査・証明するものです。本校のような服飾専門学校で学んでいる学生には実技免除の特典があります。

商品装飾展示技能士（ディスプレイ）

専門店やアパルトで活躍するプロの装飾担当者が取得する資格で、国家資格です。本校ではこの資格が在学中に取得できます。

ネイリスト技能検定

国際的に適用するネイリストの育成を目的に設定された検定です。

ラッピングコーディネーター認定

商品を包むテクニックだけでなく、TPOや送り手の気持ちになったラッピングのマナーやルールを身に付ける、ファッション業界への就職を目指す人はぜひ取得しておきたい認定資格です。

専修学校准教員資格認定「服飾」

教員としての教養や実力のレベルアップを目標とするもので、教育全般にわたっての講義が用意されています。

専門士【文部科学大臣告示】卒業と同時に付与

専門学校の2年課程を終了すると「専門士」の称号が授与されます。本校の卒業生は、「服飾専門課程専門士」となります。

販売士検定2級 合格！

2015年度ビジネス専攻科の中井さんが販売士検定に挑戦、見事2級を取得されました。小売・流通業で唯一の公的資格である販売士は、消費者ニーズが多様化・専門化してきている今、質の高いスキルをもつ優秀な人材としてその存在を強く求められており、幅広い業種の企業から注目を集めています。
2級は、流通・小売業における高度な専門知識

を身につけ、販売促進の企画・実行をリードし、店舗・売場を包括的にマネジメントする人材を目指しています。
中井「4月以降、7月開催の3校合同ショーがあったり、connect-8の立ち上げがあったりで、気持ちが落ち着かず、焦りながらも、休憩時間や通学時間を有効活用して勉強を進めて来ました。途中くじけそうになりながらも、乗り越え、やり

遂げました!! とっても嬉しいと同時に、安心しました!!」(写真:一緒に受験した学院長と)



HISTORY

1970年 文化服装学院の連綿校として広域に開設。

1971年 料理部を開設。同時に編物・手芸・アラインメント・茶道・華道・書道の選科を併設。

1972年 学生寮として「文化寮」を新築。

1974年 創立10周年記念式典開催。顕光会館(現教習館)でファッションショーを開催。

1975年 清川町現在地に新校舎建築開始。

1976年 新校舎建築工事開始。

1977年 東京長沼静まの学校連綿校認可校となり、まの養育院併設。

1978年 鉄筋4階建新校舎完成。

1979年 創立20周年記念式典開催。金沢スカイホテル大ホールでファッションショーを開催。

1980年 学校教育法の改正により、専修学校の認可を受ける。

1981年 和裁科開設。

1982年 創立30周年記念式典開催。センチュリープラザ(現リハビリテーションアカデミー)でファッションショーを開催。

1983年 和裁科開設。

1984年 鉄筋3階建学生アパルト・サンライズ清川完成。

1985年 創立40周年記念式典開催。新完全館ホールでファッションショーを開催。

1986年 カリキニウム再編着手。ファッションビジネス科増設準備開始。

1987年 アパレル造形デザイン科2年制、ファッションビジネス科2年制、デザイン専攻科(1年制)の新体制スタート。

1988年 ビジネス専攻科(1年制)増設。

1989年 金沢市主手・協働のまちづくりチャレンジ事業に、学生のまちなかファッションショー企画「KEF」が採択される。

1990年 金沢市主手・協働のまちづくりチャレンジ事業に、学生クリエイターの「VirtuaLink」が採択される。

1991年 学校施設がギャラリーハッチをOPEN。学生オリジナル商品の展示・販売と、セールスワーク(販売実務)の授業をスタート。

1992年 金沢市主手・協働のまちづくりチャレンジ事業に、加賀野菜を使用した袋ワークショップ企画「加賀野菜で染めまっし」金が採択される。

1993年 金沢市主手・協働のまちづくりチャレンジ事業に、コンテンツボラリーな着物を使用したファッションショー・物販企画「KANAZAWA」が採択される。

1994年 学校法人化名称「学校法人金沢文化学園」。

1995年 文部科学省委託事業「ファッション分野に於ける中核的専門人材養成プロジェクト」3部門に参画する。

1996年 セコリ荘金沢がOPEN。

1997年 創立60周年を記念して金沢21世紀美術館で「100年を振り返る」展を開催。BUNKA FASHION RENAISSANCE 展示会・ファッションショーを開催。

1998年 アパレル造形デザイン科3年制コース、2年制コース、ファッションビジネス科(2年制)・ビジネス専攻科(1年制)の新体制スタート。

APPAREL CREATIVE DESIGN

アパレル造形デザイン科

3年制

パタンナーやデザイナーに必要不可欠となる豊かなデザイン力や企画力などをトータルに学び、ファッション業界で活躍するクリエイターを育成します。

作品を実際に販売したり ショーで魅せる技術を磨き、 一流のクリエイターに

学生のニーズに合わせて、企業でもフリーランスでも活躍できるように、デザインだけではなくパターン教育にも力を入れています。服作りにおいてパターンの技術は大変重要です。一部分だけではなく、トータルで物事を捉え、しっかりとカタチにできるクリエイターを育成します。

3年間を通して、デザイン、パターン（平面製図・立体裁断）、縫製に特化して学んでいくのが特徴です。制作した服はイベントで販売したりショーでの使用を目的として制作します。クリエイターにとっては他人に見てもらうことも大切です。色々なことにどんどんチャレンジできる機会が沢山あります。



COURSE コース紹介



アパレルクリエーションコース

フリーランスでも活躍できる人材・デザイナーを目指したコースです。クリエイティビティあふれるデザイン力と創造力を養うために芸術面にも触れ美しいシルエットやバランスも考察でき、更に時代にあったオリジナリティに富んだ作品を生み出す人材を育成します。



アパレルテクニカルコース

パタンナー・企画職を目指したコースです。ファッション造形の理論と技術を総合的に学びモノ作りの基礎から応用までを身につけ、高度な商品知識を持った人材を育成します。

ABOUT STUDY

色々な技術を吸収したい

今年度の作品はデザイン性を上げていくのはもちろん、魅せ方でもレベルアップしたいです。デザイン性向上のためにコレクション雑誌から切り抜きをしたり、デザイン画を定期的に描くようにしています。見せ方では、ポートフォリオのクオリティを上げるためにロケーションや編集にこだわって3年生らしい作品作りに取り組みたいです！今年度もマイブランドである「月天使」を継続して作っていくつもりですが、昨年度の作品と差をつけるために多素材を使用するなど、1・2年生次ではできなかったことをしたいです。今年度は「哀しみを身にまとう」をテーマにデザイン展開をしていきます。儚くて、可愛くて、美しい

という自分の世界観をより強く伝えられるように色々な技術を吸収したいです。また、それを形にできるようにすることが3年生での目標です！また、学校以外ではコスプレや撮影などの趣味をもっと楽しみたいです。私はアニメが大好きで、小さい頃からずっとキャラクターのコスプレに興味があり、やってみたかったけれど手を出せずにいました。ですがついに最近やっと活動し始めることができました！まだまだやりたいキャラクターがたくさんいるので、今年はたくさんイベントに参加したいと思っています。



PICK UP

昨年の BFR は、ブランドをつくって初めてのショーだったので、コンセプトや世界観が伝わるものを意識しました。とにかく自分の思う思いを詰め込んで作品にしました。ポートフォリオも去年よりクオリティをあげ、親友と撮影することで世界観をより表現することもできました。



藤原 今日子
Kyoko Fujihara
福井県立科学技術高等学校出身
アパレル造形デザイン科3年（現デザイン専攻科）

PICK UP CURRICULUM

服づくりの基本技術を得し、
クリエイターとしてのプロの感性を身につけます。



コンセプトメイキング

服作りにおける最初の作業がデザイン画を描くことです。アニメや漫画とは違うファッションイラストレーション独特のプロポーションの取り方やポージングから素材表現までを基本的に学び、コンテストやポートフォリオの制作でも通用する表現の方法をデザイン画を通じて身につけます。



パターンメイキング

工業用ボディーを使った既製服生産に用いられる製図方法です。生産性の高いパターンメイキングテクニックの基本をドラフティング（平面製図）やドレーピング（立体裁断）などの技法で学びます。



オリジナルクリエーション

ベーシッククリエーションで様々なアイテム制作を学び、オリジナルクリエーションではそれを応用させて、自分が作りたい作品を制作します。また、他人を感動させる服づくりは沢山の時間をかけたリサーチが重要。この演習を通して、自分はどんな服を作りたいのかについても学びます。



アパレルCAD

基本的な平面製図を学び手書きのパターンメイキングを理解した上で学ぶのがCADの授業です。製図をパソコンに入力、データ化し展開・縫い代付け・マーキングそしてグレーディングなどの機能やオペレーションテクニックと理論を実習を通して学んでいきます。CADを使いこなすことができれば必然的に就職活動に大きなプラスとなります。

1年次

1年次では平面製図によるパターン制作、人体に合わせた補正や素材別の縫製など服飾造形を中心に、立体構成の基本理論とデザイン表現の基本技法をマスターしながら、ファッションクリエイターとして必要な専門知識とプロとしての感性・感覚を養います。

ベーシッククリエーション	オリジナルクリエーション
ファッション通信	民族衣装
パターンメイキング理論・実習	ファッション史
アパレル素材論	デザインPC
ファッションコミュニケーション	ブランド企画

2・3年次

2年次では平面による裁断理論を立体裁断の実習と合わせて、商品化を意識したパターン製作技術の向上をはかるとともにデザイン発想を強化して柔軟な発想力とハイセンスな感性を養います。3年次はそれを更に深くつきつめるためにCADを使用したり工場への発注書作成を行いオリジナルアイテムの製造を工場に実際に発注したりします。また手縫いによるオートクチュールのスキルも学びこれまで以上に完成度の高い作品づくりを行います。なりたい職業や学びたい内容などからアパレルクリエーションコースとアパレルテクニカルコースを選択します。

コンセプトメイキング	パターンマジック
自主研究	卒業・進級制作
【アパレルクリエーションコース】	
ファッション商品知識	Fine Arts
【アパレルテクニカルコース】	
実践パターン	立体裁断

ワタシと時間割

私は1年生の時、ドレーピングの授業が苦手でした。ですが、先生の熱心なご指導のもと、授業を重ねていくうちにようやくトワルのシワや問題点を見つけられるようになり、先生とも意見交換できるようになりました！
パターンからではなく、布をボディーにあてながら作るドレーピングはとても難しいですが、慣れてくるとデザインの幅が広がるのでとても楽しいです！

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1	09:30 アパレル 素材論		ファッション史		
2	10:20 CAD	ベーシック クリエーション	コンセプト メイキング	立体裁断	自主研究
3	11:20 11:30 12:20				
4	13:20 14:10 14:20	民族衣装	ブランド ブランニング	ファッション 商品知識	
5	15:10 15:20	Fine Arts	実践 パターン	色彩学	オリジナル クリエーション
6	16:20	デザインPC			
7	17:30		SWOT TIME		

FUTURE 卒業生の進路

パタンナーやコスチュームデザイナーとして県内外はもちろん、海外でも活躍できる人材、また企画職やCADオペレーターとしてトータル的に服づくりを見渡せる人材となり、活躍していきます。

主な就職先

(株)オンワード樺山、(株)CAN、(株)PAL、(株)ヤギ・コーポレーション、(株)ロングラン、(株)エース、ジャパグループ、(株)ファイブフォックス など ※順不同

GRADUATE

カナンでの3年間は、技術面はもちろん精神面でも大きく成長することができ、たくさんを知り、経験し、学びました。その中で、わたしが大切だと感じたことは、自分が楽しめることを見つけることです。自分自身を良く知り、何に興味があり、何をしているときに喜びを感じるのか。楽しんでできることこそ、自分が1番力を発揮できることだと思います。わたしは、パタンの奥深さと、それを追究する過程に面白さを感じ、もっと知りたい学びたいと思い、パタンナーの道へ進みました。学校を卒業した今も日々勉強の毎日です。自分の道を見つけた人、それを思いっきり楽しんでください。
株式会社カメダ
/パタンナー
和平 瞳
Hitomi Wadaira
富山県立立山高等学校出身
アパレル造形デザイン科3年
(現デザイン専攻科) 2015年度卒業



SCHOOL LIFE

やりがいと幸せを見つけることができました。

坂東 楓子 Fuuko Bando

富山県立新湊高等学校出身 / アパレル造形デザイン科3年 (現デザイン専攻科)

カナブンにはお洒落に敏感で毎日個性的なお洋服を着こなしている学生ばかりですが、私はお洒落があまり得意ではなく、自分がお洋服に対する熱量はやっぱり弱いと感じています。そんな私がファッションの学校で3年間学ぶ理由は、衣裳が大好きだからです。ミュージカルで使用される舞台衣裳やアイドルが着るステージ衣裳、ウェディングドレスなど沢山あるのですが、私はその全部が大好きなんです。そういった衣裳は、誰でも着られるわけじゃないし、いつでも着られるわけじゃないけれど、なにか特別な時には必ず必要で、そこにいるみんなの思い出に残る大きなパワーがあると思っています。ですから私は将来、衣裳制作に関わる仕事をしたいと思っています。私の作った衣裳が、それを身につけた人々の思い出の一部になったり、それを見た人を楽しませたり、喜ばせたりすることが本当に私の幸せです！

2年次では特にマイブランドの制作に力を入れていました。私は「初恋嘔吐」という名前の、女の子の感情をキーワードにしたブランドを立ち上げました。BFRでは「アイスとりボン」をテーマに掲げてお洋服を制作しました。「この世の中に絶望している私たちは、それでも甘い蜜を探して求めて、今にも消えそうなこの体を「可愛い」で縛り付けて今日も生きている」を裏テーマに、私なりに女の子の心の中の葛藤を形にしました。それを素材でも表そうと、デニム、ニット、ローン、ツイード、ガーゼ、オーガンジー、ペロア、サテンなど色々な生地を使いました。パッチワークや編み物、生地へのペイントなどこれまでやったことの無い手法も使いながら、最終的に5体の衣裳を完成させました。それを着てくれる可愛い5人のモデルの顔を想像しながら制作して、完成したときの感動は頑張ってるからこそ感じる気持ちです。私の作ったお洋服を着てくれるだけでも有難いことなのに、ショーが終わってからモデルの皆が「着せてくれてありがとう」と言ってくれることが物凄く嬉しくて、本当に幸せでした。この経験を通して、私のやりたいことはこれなんだとシンプルに感じる事ができました。カナブンに入学して2年間で洋服作りを学び、幸せでやりがいを感じることに会うことができました。学生生活最後の1年では更に技術を高めて、もっと幸せを見つけたいです。



PCK UP

衣裳って誰でもいつでも着られるものではないけど、みんなの心に残って大切な思い出になる、そんな素敵なパワーがあると思っています。自分の作る衣裳がみんなの思い出の一部になるなんて、そんな幸せは無いです。私はみんなの楽しそうな姿を見ることが大好きなんです。可愛いモデルが「初恋嘔吐」のお洋服を着てミラーボールの下で歩いている光景が嬉しすぎて一生の宝物です。



PCK UP

私は3年に進学することを選択しました。昨年以上に作品作りや撮影をしていくのは勿論、金沢文化の学生だからこそできること、知れること、聞けること、驚がれること、行ける場所に行き、最後の学生生活を有意義に過ごし、自分を発信していきます。バイトや作品作りをしていながらは大変ですが、フットワークを軽くクリエイティブに生活していきます！そして2年間毎日続けてきた「毎日の服装を楽しみながら作品を作る！」ことも継続します！



服を通して自分を表現したい

新谷 木鳩 Kobato Shintani

造形高等学校出身 / アパレル造形デザイン科3年 (現デザイン専攻科)

1年生の頃は初めてに近い状態で工業用ミシンに触れ、服作りの基礎や歴史、素材、パターン、デザイン画など服に関わることを沢山学びました。服作りは想像以上に細かく地味な作業で、手芸しかしたことがなかった私は難しく戸惑うことだらけでした。少しずつ自分の描いた服が形になっていくことに喜びを感じ、もっと沢山作りたい！と思う反面、形になった時の完成度に物足りなさを感じ、もっと面白い服を作りたいと思いました。しかし1年生の頃は全然技術もなく教科書にあるような基本しか作っていませんでした。BFRに出す衣裳は「ウールの素材を使う」ということを決められた中で、周りとの差別化をするために根気のいるビーズ刺繍を何百個と付けて2スタイルの服を作りました。入学する前からの夢だった、自分の作りたい服を作って自分で着る。と言う夢が叶い喜びを感じました。当時の私にとって1番の大作がショーに出て、ライトを浴び、お客さんの前で発表できることに感動しました。また、ファッションビジネス科の仲間と協力して活動した和パンギャルドでは、中々触れられない着物文化に触れることができましたし、色々な出会いもありました。違う学科のクラスのメンバーと話す機会も増え、服作りをメインとしていた私とはまた違う視点からの意見を聞き、学ぶことが沢山あり、改めてこの活動をして良かった♪って思っています。2年生では、1年生の頃に先輩の作品を見て楽しみにしていたマイブランドの制作ができました。何をやるか、どんなブランドにするか、どんな生地を使うかと、ずっとマイブランドのことを考えてました。サーカスをモチーフに5体作り、満足のいく作品を作れました。

1年生の頃は思った以上に授業外での自主制作が全然できなくて後悔していたので、2年生では沢山作って、もっと服を通して自分を表現していこう！と決心して取り組みました。また、趣味のコスプレ活動も本格的に初めて、作品撮りやマイブランドに力を注ぎ、それからコンテストに初めて挑戦した年でもありました。残念ながら落選しましたが、ポートフォリオやデザイン画を学べました。得意だった授業は、受けていくうちにできる様になっていくと自然と好きになっていきました。勿論毎回上手くいくわけではありませんが、1番大きく変化したと感じるのはデザイン画でした。ボディバランスの取り方、顔の表情、生地のしわや立体感が最初に比べると驚くぐらい成長しました。沢山画像を見て、とにかく数をこなしました。ファインアートの授業は唯一肩の力を抜いて受けられる授業で、中々触れない現代アート作品に触れることができたり、小さい頃の感覚を思い出したりと、とても自由に考えることができ毎週楽しく楽しみました。

APPAREL CREATIVE DESIGN

アパレル造形デザイン科

2年制

パターンやデザイン力だけではなく、
布地特性を知り細かい手作業もこなす、
どの現場でも求められる人材を育成します。

幅広い知識を持ち 一貫した仕事ができる 人材の育成

昨今のファッション業界では、何か一つにつきつめるのももちろん大切ですが柔軟に色々なことに対応できる人材を求めています。「パターンだけしかできない」「縫うことしかできない」ではなく、どの視点からも提案ができてトータルで商品作りができる、どの企業からも求められる人材を育成します。

2年間を通して基本的なデザイン、パターン、縫製を学ぶのはもちろん、そこから更に深く研究し、パターンと素材の相性や裁断・縫製に関してどういった方法が効率がよいのか、きれいに仕上がるのか、と考え、作るだけではなく人に見てもらって着てもらい機会を増やし、更なるスキルの上を目指します。



COURSE コース紹介



ベーシックコース

1年次で学んだデザインとパターンの基礎を通して更に洋裁全般を総合的に学ぶため、色々な布地に触れ、その布地ならではのパターンの作り方や縫製を研究します。ミシンだけでは補えない商品にも対応するために刺繍や手縫などの手工芸も取り入れてリフォーマーなど広い知識と経験が無ければできない仕事にも就けるように勉強していきます。

ABOUT STUDY

夢に向かって学び続けたい

私がものづくりを始めたきっかけは、幼い頃から編み物や裁縫、お菓子作りを教わったことです。中学生の時に、浴衣やワンピースといった服を制作した際に、一つ一つ形の違うパターンを繋げることで、1つの服になるということに感動を覚え、「私もこんなパターンを作りたい!」という思いから、パタンナーを目指すようになりました。

そして私はカナブンに入学し、アパレル造形デザイン科で、デザインやパターンメイキング、縫製技術、素材についての知識など、服作りに必要な知識・技術を学んでいます。その中でも私は、パターンメイキングに力を入れています。デザインの仕上がりや想像し、考えながらパターンを引き、

トワルを組み、思うような形になるまで、何度も修正し、

完璧なパターンを目指します。一言でパターンを作ると言っても、このような工程を踏んでいかなければなりません。デザインされた服が形になった時に、その形が良くなるか悪くなるかはこの作業で決まる程大切です。だからこそ、イメージ通りに仕上がった時は達成感があり、自信に繋がります。

入学して1年が経つ今でも、パタンナーになりたいという思いは変わらずにいます。むしろ服作りについて学ぶ度に、その思いは大きくなっています。そんな私の将来の夢は、デザイナーからのデザインを忠実な形にできるようなパタンナーになることです。そのためにも、いろんな服のパターンを引き、学び続けたいと思います。



泉 舞
Mai Izumi
石川県立工業高等学校出身
アパレル造形デザイン科2年

PICK UP

1年生の終了作品で制作したワンピースドレスです。「雪女」をテーマに、身頃は素材の違いを利用して、雪の層を。スカート部分はスワロフスキーを使用して、ダイヤモンドダストを表現した作品です。

身頃の層は、前後で一枚筋きになるようなパターンの仕様になっています。

ワタシと時間割

私の好きな授業は「クリエイション」です。デザインしたものを、パターン（型紙）にし、裁断・縫製をするといった、服作りの一連の工程を学びます。私が目指すパタンナーの知識・技術は、主にこの授業で学ぶことができます。

「パターンメイキング」の授業は、ただ線を引いていくものではなく、デザインのイメージ、シルエット、着やすさなどを考慮して引いていきます。自分がどんな線を引くかによって、デザインのイメージやシルエットが変わってくるので、難しさはありますが、それ以上の楽しさがあると思います。

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1	09:30 アパレル 素材論		ファッション史		
2	10:20 CAD	ベーシック クリエイション	コンセプト メイキング	立体裁断	自主研究
3	11:20 11:30 12:20				
4	13:20 14:10 14:20	民族衣装 ブランド プランニング		ファッション 商品知識	
5	15:10 15:20	Fine Arts	実践 パターン	色彩学	オリジナル クリエイション
6	16:20	デザイン PC			
7	17:30		SWOT TIME		

PICK UP CURRICULUM

ファッションについて、全てを学ぶ



デザイン画

服づくりにおける最初の作業がデザイン画を描くことです。服は人が着るものなので、ここで言うデザイン画はアニメや漫画とは少し違います。この演習を通して、自分が作りたいイメージをどんどん膨らませて描く力だけでなく、事前にどのような服になるのかを、様々な人々に正確に伝えるツールとしてのデザイン画を描ける力も身につきます。



アパレル素材論

アパレル業界で必要不可欠な、服作りのプロになるための基礎知識を学びます。デザイン・パターン・縫製、と全てのことに関わってくる素材の知識を増やすために天然繊維・化学繊維など布地の成り立ちから学び、それぞれの特性を知ることによりよい服づくりができるようになります。



ベーシッククリエイション

服づくりの基本となる、人体の構造を学び採寸します。また、人体を包む衣服の基本形である「原型」作成後、基本アイテムの制作をすることで、パターンメイキング、縫製の基礎知識・技術を習得していきます。



アパレルクリエイション

ベーシッククリエイションを通して基本的なアイテムを作ることができるようになったらそれを更に深く、そして実践的に使える技術・資料を増やしていきます。コストの面も考えたマーキングの考え方、現場でも活用できるようなファイルの作成などをしていきます。

1年次

1年次では平面製図によるパターン制作、人体に合わせた補正や素材別の縫製など服飾造形を中心に、立体構成の基本原則とデザイン表現の基本技法をマスターしながら、ファッションクリエイターとして必要な専門知識とプロとしての感性・感覚を養います。

ベーシッククリエイション	オリジナルクリエイション
ファッション通信	民族衣装
パターンメイキング理論・実習	ファッション史
アパレル素材論	デザインPC
ファッションコミュニケーション	ブランド企画

2年次

2年次では平面によるパターン制作や裁断理論の向上をはかりながら商品化・実践的な仕事と同じ要領で作業をこなしていきます。完成品に至るまでを創造力をはたかせてイメージし、それに最もふさわしいパターンや縫製の方法を導き出していく力をつけます。

デザイン画	自主研究
卒業・進級制作	ファッション商品知識
トレンド情報	アパレルクリエイション
ファッションコミュニケーション	色彩学

FUTURE 卒業生の進路

知識・技術を活かし、さらに成長することで商品企画にも携わることができる人材に。リフォーマーや縫製オペレーターのような技術と迅速な対応が求められるスペシャリストとして活躍していきます。

主な就職先

(株)ランブル、(株)モンスター、丸福縫製(株)、(株)クマモトニット、(株)ミヤモリ、(株)フープスターサイカイ など ※順不同

GRADUATE

僕は「テーラードジャケット屋」という愛称のファイブワンファクトリーに就職させて頂きました。オーダースーツの会社なので、一切の手間を惜しまず仕立てます。将来自分のブランドを立ち上げたいと思っていて、デザイン性のある服をデザインする時、縫製の簡略化をしようと思った時、服を作る際には必ず本物を知らなければいけないと思いました。なのでしっかり技術を磨き自分のモノにしたいです!夢を持つと、たとえその夢が叶わなくてもその夢に向かって磨いた技術はきっと自分のためになるので、夢を持つのはとてもいいことだと思います!僕もこれからも夢に向かって努力していきます!!

ファイブワン・ファクトリー(株)
/ 縫製
中嶋 悠太
Yuuta Nakashima
富山県立志賀野高等学校出身
アパレル造形デザイン科 2015年度卒業



SCHOOL LIFE

私を変えたカナブン

山崎 麗奈 Reina Yamazaki

石川県立金沢中央高等学校出身 / アパレル造形デザイン科2年

「夢がない」「やりたいことが見つからない」と言っている若い人が増えた、と最近よく耳にしますが、かつては私もその内の1人でした。私の周りには年上の友達はフリーターばかりだったので、自分も高校を卒業したらそうなるんだろうな、と漠然とした思いでした。しかし同時に、どこかで活動的な面を持った自分がいて、「このままじゃいけない、何か自分の好きなものを生かせることはないか」と考えた時、趣味でもあった服作りが思い浮かびました。

もちろん趣味の範囲で、職業にしようなんて全く思ってもいない分野だったので、少し腰が引けましたが、説明会だけでも行ってみようと思い、初めてカナブンを訪れました。

そこで受けた学校の教育理念や、学院長のお話にとっても魅力を感じ、この学校で頑張ってみようと思い、カナブン入学への道ができていきました。知識、技術、資格をただ身に付けているだけでは不十分な現在のファッション業界において、社会や企業から歓迎される人材の育成を方針にしているカナブン。入学してからそれを感じられる、色々な経験をさせて頂き、もちろん専門知識もそうですが、先生方にはそれ以外にも様々な面でお世話になり、人間的にも成長できる、本当にいい場所だと思いました。友達にも恵まれ、友達のおかげで成長できたことや、身に付いたこともたくさんあり、今では本当にこの学校に入ってよかったと思うことがたくさんあります。

技術面も知識面もまだまだで、思い通りにできることの方が断然少ないですが、「できなくて悔しい」から「できて嬉しい」へと成長していける過程はとてもやりがいがあり、本当に充実しています。そして何より、自分の作ったものを発表できる場でもあるということ！これが一番アツいです。ファッションショーはもちろん、各イベント行事や校内でのプレゼン会、こうしたパンフレット。色々な形で発信できるのは学生ならではのです。

こうして服について取り組んでいると「自分ってこんなに熱くなれたんだ、こんなに作ることが好きだったんだ」と、知らなかった自分の一面を知っていくことができました。

一番大きいのは、人見知りで好きなもの以外には興味を持ってなかった自分の性格が変わりつつあることです。人脈が大切になってくるこの業界において致命的である人見知りを直すため、様々な事柄に興味を持ち、それを探っていくことで人と話したり、コミュニケーションを図ったりと、どこかなくも克服する努力をしている最中です(笑)。コミュニケーション能力の高い友人のアドバイスを聞き、積極的に実行に移しています。

フリーターになる予定だった人間がここまで考え方や性格に至るまで変わることのできたカナブン。すごく魅力的だと思いませんか？今後、私は自分をもっともっと表現していきたいと思っています。そのため、今は自分の世界観を構築するためのアイデアを作り込んでいるので、良いモノを送り出せるように、更に努力して、成長していきます！



PCK UP

学生生活は楽しいことばかりではなく、嫌なことだってあるし、失敗することの方がむしろ多いです。でも、そんな時に投げず問題と向き合うことを大切にしてきたおかげで、それが経験となり、自分自身の成長に繋がったので、私はマイナスなことにも勉強のつもりで向き合うことを大切にしています！服作りの上でもこれは大切で、失敗したことでやる気を無くさずに「1度失敗を学べ！次は同じことしない！」と取り組むと、段々と失敗が無くなって、服作りが更に好きになりました！



夢が見つかった瞬間、 そのためへのスキルアップ

形川 佳那 Keina Narikawa

富山県立小杉高等学校出身 / アパレル造形デザイン科2年

幼い頃からものづくりが大好きで、そして服に興味を持ち始めた頃、服を作りたいという思いも同時に抱くようになりました。私はミュージカルやバレードなど世界観や物語性のあるものや、ドレスなどの華やかな衣装が大好きなので、将来の夢はコスチュームデザイナーになることです。いつか着る人や作品の良さをより魅きだせる、私にしか作れないような衣装を作りたいと思っています！最近では金沢でミュージカルや衣装製作をしている方のお手伝いなど、他ではできないような経験をさせていただく機会も増えました。学校だけでは学べないことも多く学べているので、とてもいい経験になっています。

少しずつ自分の作りたいものにも挑戦できるようになってきて、今は服を作るのが本当に楽しいです！2年次では、自分の世界観をだせるような作品を1つでも多く作りたいと思っています。金沢文化服装学院には、憧れるくらいこよくて個性的な人がたくさんいるので、私も負けないように頑張りたいです！



PCK UP

私は自分が着飾ることよりも人にかわいい服を着せたいという気持ちが強く、こんな服を着せたいな、かわいだろうな、と思いつながら服を作っています。自分の作りたい物を形にするためにはデザイン、パターン、生地選びなどとても大変で難しく苦勞しますが、自分が作った服を着てもらったり、着たい！かわいい！といってもらえることが一番幸せです！



古着好きからデザイナー志望へ

本川 潤 Jun Honkawa

高岡第一高等学校出身 / アパレル造形デザイン科2年

私がカナブんに入学しようと思ったのは、姉の影響でファッションに興味を持ち、古着が好きになったことがきっかけでした。将来古着屋さんを開きたいと思い、カナブンのファッションビジネス科に入学しました。しかし授業内で服を作ることが増え、楽しさや感動を覚えた私は、服を作りたいという思いが強くなり「デザイナーになりたい」と思うようになりました。先生方に相談して転科試験に臨むことを決意し、アパレル造形デザイン科と同じ授業を週に一度、SWOT TIMEで1時間受けさせていただくことになりました。授業を受けていく中で分からないことや難しいこと、初めて知ることなど多くありましたが、後悔はありませんでした。これをきっかけにたくさんの先生方、先輩方に応援していただいていることを再確認でき、とても感謝しています。

ファッションビジネス科の授業を受けている分、他のみんなより忙しくなり大変だった時期もありましたが、無事、2年生から転科することが決まりました。協力してくれた皆さんと両親への感謝の気持ちを忘れずに、アパレル造形デザイン科に入ってからコンテスト受賞を目標に頑張っていきたいです。

PCK UP

私は今「Cattle mutilation」という名前のファッション団体の活動をしています。好きなものを好きなように着ることが出来る街にするため、みんなでおしゃれを楽しむためにファッションショー、フリマ、スナップ撮影会、ファッションウォーク、パーティー、などのイベント企画を始め、交流、勉強会などを開催しています。



FASHION BUSINESS

ファッションビジネス科

ファッションアドバイザーやスタイリストに必要なファッションビジネスの基礎や販売実務を学び、ファッション業界の最先端で活躍するプロを育成します。

専門知識と技術を持った、トータルコーディネートを提案できる人材の育成

流通業界において即戦力となる、知識・技術・人間性を有する人材の育成を目的としています。消費者の顕在的な欲求に応えながらも、潜在的な欲求を引き出せるようなスキルを様々なワークを通して磨いていきます。

ファッション業界の仕事は、「他人=お客様」の人生をより素敵に演出する、自分の「好き」なことで誰かの役に立てるお手伝い業。

2年間を通して、接客・販売、マーケティング、マーチャンダイジング、マネジメントについて、幅広く学んでいくのが当科の特徴です。ファッションは生鮮食品と一緒で「鮮度」や「旬」が命。服だけでなくメイク・ネイルを含むトータルで消費者に最新のファッションを提案できる人材を目指します。



COURSE コース紹介



ショップマネジメントコース

ショップオーナー・アパレルマーチャンダイザーを目指したコースです。ファッションビジネスで新たなビジネスを創出する力を身につけます。雑貨 × 作家マーケットなどの物販イベントの運営を通し、将来起業する際に使える事業計画書を作成します。



ショップスタイリストコース

ファッションアドバイザー・スタイリストを目指したコースです。ファッションの持つ潜在的な「価値」をビジュアル化し、ビジネスに変える感性やスキルを磨きます。ファッションショーイベントの企画、運営やフォトブックの制作を通し、スタイリングの提案力、発信力を身につけます。

ABOUT STUDY

時間を充実させ、大切にすること

高校生だった頃は授業時間中は友達と切磋琢磨し勉強を頑張っていました。そして、放課後になると時々カラオケなどに行き遊んだり、勉強と遊びを両立させていました。今思うと、あっという間の3年間だったと思います。なので、カナブンに入学してからのこの2年間で、やりた

いことへ取り組む時間、出逢った人達との時間をいかに充実させるかが大事だと思いました。

授業時間内は、クラスメイト達と楽しく授業に取り組み、夢を叶えるための第一歩として、沢山の知識を学んでいます。中には大変なこともあります。クラスメイト達と高め合いながらこなしています。そして、休み時間になると、たわいもない会話でクラスみんなで盛り上がりたりして

ます。毎日がとても濃く、刺激のある学校生活を送ることができています。カナブンでの学生生活は2年間という短い時間ではありませんが、その中で、どれだけ吸収できるか、どれだけ充実させることかできるかが課題になるので、これからも頑張っていきます。



早月 麻耶乃
Mayano Hayatsuki
石川県立金沢西高等学校出身
ファッションビジネス科2年



PICK UP

私は、授業時間はもちろんのこと、友達との時間も大事にしたいと思っています。カナブンに入学したから仲良くなれた仲間たちのことを少しでも多く知りたと思って放課後や、休みの日に遊んだり、一緒にテスト勉強をしたりと充実した日々を過ごしています。ここで、出逢った仲間は一生涯の仲間なので、これからもお互いに成長しあえるように頑張っていきます。

ワタシと時間割

ファッションコーディネートは、私にとって一番楽しい授業です。私とその授業の中で一番印象に残っているのは「イメチェン」という内容です。ペアを組み、相手のいつものイメージをチェンジさせるというものです。初めて、自分以外の人をコーディネートし、撮影に必要なものを集め、撮影機材を組み立てる。大変ではありましたが、自分以外の人をコーディネートすることはとても楽しかったです。演習が多かったので、1年を通して作品を見比べてみると、成長が分かり、さらに学びたいと思いました。

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1	09:30 HR		アパレル素材論		ファッション コーディネート
2	10:20 10:30	クリエイション	色彩学	コンピュータ	
3	11:20 11:30 12:20				
4	13:20 14:10 14:20	ファッション 流通	ファッション史	セールス ワーク	デザイン画
5	15:10	メイク	トレンド情報		ネイル
6	15:20 16:20	ファッション 商品知識	デザイン発想	ファッション 販売	
7	17:30		SWOT TIME		

PICK UP CURRICULUM

服づくりの基本技術を習得し、 クリエイターとしてのプロの感性を身につけます。



ファッションビジネス論

1年次においてファッションビジネス・マーケティング、セールスプロモーションの基本を学び、ファッションビジネス能力検定3級の資格取得を目指します。2年次では、1年次で修得した基礎知識を応用し、より深く広くファッション業界の知識を理解していきます。ファッションビジネス能力検定2級のビジネス知識分野にも対応します。



ファッションコーディネート

コーディネートの基礎を学び、オリジナルのコーディネート企画を企画。服だけでなく、ヘアメイク、ネイル、アクセサリーなど今まで学んだスキルを活かしながらトータルコーディネートしたものを自らフォトシューティングし、編集して作品に仕上げます。



事業計画書

自分がやりたいショップを立ち上げるための事業計画書を作成します。マーケティング・ビジネスプランの作成を通して、説明やプレゼン能力の技術も高めていきます。日本政策金融公庫の融資担当者にプレゼンテーションを行い評価していただくことで自信をつけることができます。



セールスワーク

売り場で即戦力として活躍できるよう、接客・販売のロールプレイングを繰り返し行っていきます。かつては1億円プレイヤー、現在は数多くのショップを運営されている柴田講師(P.51参照)や、同社の現役店長の数名が、マンツーマンで教えて下さいます。

FUTURE 卒業生の進路

プランナーやセールスマネージャー、ショップ経営、バイヤーや商品企画職として求められる人材。またファッション関連企業の総合職やディレクター、マーチャンダイザーとして世界で活躍していきます。

主な就職先

ディーゼルジャパン(株)、(株)クレヨン、(株)三陽商会、(株)オンワード樺山、(株)パレリ、(株)ワールドストアパートナーズ、(有)FAVOR、(株)ナイスクラブ、(株)ファイブフォックス など ※順不同

1年次

ファッションの総合的な基礎知識と商品の生産、流通、販売、消費などファッション業界全体のシステムと各業態の構造や役割、ファッションビジネス実務の基本などを学び、同時にスタイリングに必要なセンスを養います。

ファッション流通	スタイリストワーク
ファッション商品知識	ファッション史
セールスワークI	アパレル素材論
ファッション色彩学	ビジネスPC
イラストレーション	クリエイション

2年次

ショップオーナー・アパレルマーチャンダイザーを目指したショップマネジメントコースとファッションアドバイザー・スタイリストを目指したショップスタイリストコースに分かれ、それぞれより専門的に学習し将来のビジョンに対応します。

セールスワークII	デザインPC
[ショップスタイリストコース]	
ファッションコーディネート	ネイル
カメラワーク	リメイククリエイション
[ショップマネジメントコース]	
ビジネスプランニング	事業計画書
ショップデザイン	商品企画

GRADUATE

私は、就職活動を通して、感謝の気持ちを伝える大切さ、自分をただ表現できるかなどたくさんを学び自分の成長に繋げることができました。履歴書は、先生に見直してもらいながら何度も書き直し、面接練習は、忙しい時間の中ぎりぎりまで先生や友達に練習に付き合ってもらいました。最初は、とても緊張していましたが、何度も練習するうちに少しずつ緊張もほぐれ、自分でも練習の成果を実感することができました。この経験を忘れず、お客様やスタッフに伝わるFAを目指し、企業に貢献できるよう一層頑張っていく予定です。

**株式会社ジャパン
イメージーション
/ プレス候補**
青山 美津子
Mitsuko Aoyama
福井県立丹生高等学校出身
ファッションビジネス科 2015年度卒業



SCHOOL LIFE

将来のために 今しかできないことを頑張る

三味 菜津子 Natsuko Syami
小松大谷高等学校出身 / ファッションビジネス科2年

私がカナブンに入学した理由は、服に興味があるというささいな思いからでした。高校時代は部活をしながらも、雑誌を読んだりショッピングするのが好きで、将来のことを考えた時に、自分の好きな服にかこまれた仕事がしたいと思いました。

知識が浅かったのではっきりとした目標がないまま入学しましたが、ファッション業界のことや服作りの基礎を授業で教わるうちに自分のやりたいことを見つけることができました。それは、マーチャンダイザー（MD）になることです。商品開発から販売計画、予算管理など総合的な管理をする仕事です。しかし、MDになるためには、まず販売スタッフの経験が必要なので、最初は販売の技術を身につけ、お客様のニーズを上手く引き出すなど、MDに近づけるように頑張っていきたいです。

学校生活は、月曜から金曜まで1限から6限までぎっしり授業がありハードですが、将来役に立つ内容ばかりなので楽しいです。そして、それぞれ夢に向かって頑張っているクラスのみならず、過ごす時間はとても充実していて、私が一番大事にしている時間でもあります。一人ひとりの個性が強く、尊敬するところもあり、ファッションの刺激をもらい、時には注意し合うこともあります。この学校に入ってみんなと出会えたことが本当によかったと感じています。

現在私は、販売のアルバイトをしています。初めて販売という仕事をしましたが、セールスワークという授業で教わった販売の流れや知識があったので、他の学生バイトの人と比べていち早く現場に慣れることができました。アルバイトでは授業で教わったことをすぐに活かせることができ、セールスワークではアルバイトの時の疑問や悩みを聞くことができ、いい経験となっています。学校とバイトの両立は少し厳しいですが、私は通学に片道1時間半かかるのでとても環境がいいとは言えないですが、自分の好きなことをやらせてもらっていることを感謝して毎日を過ごしています。とくに親には感謝の気持ちでいっぱいです。なので、いつか親孝行をするためにも、苦しくて逃げ出したいことがあったときは「将来のために頑張る、今しかできない。」と思い、頑張っています。

たった2年間の学校生活ですが、最初の1年でとても濃い毎日過ごすことができ、自分の成長を感じ、短所や長所を改めて考えることができました。短所を長所にできるように努力し、何事にもチャレンジしていきたいと思っています。



PCK UP

私はこの学校に入り、自分自身について考える時間が多いと感じました。中でも、短所はすぐに思いつくのに長所を見つけることはとても苦戦しました。そして、短所を長所にしたいと考えました。今まではとてもマイナス思考でしたが、なるべく物事をプラス思考に考えるように心がけています。他にも、めんどくさいことから逃げがちでしたが、この一年でそれも減ってきました。さらに、自ら動くことが増えてきたので、自分でも成長したと感じています。



変化を学び、成長すること

所 彩夏 Ayaka Tokoro
尾山台高等学校出身 / ファッションビジネス科2年

私は小さい頃から「変化」するヒト・モノ・コトが好きで、中でもファッションによって変化するヒトが1番好きです。「ファッション色彩」の授業では、色によって印象が「変化」したり、肌の色の違いによって似合う色が「変化」したりすることを学べたことが私の中でとても印象に残っています。アパレルでのアルバイトではこの知識が身についたからこそ、お客様に合ったコーディネート提案ができ、喜んで帰って頂くことにやり甲斐を感じました。担当講師の久田先生からは「色は人間にしか楽しめない」と教わりました。ある時クラスマネージャーから「空を見上げて登校してごらん」と言われ、初めはなんのことも分らなかったのですが、だんだんとその意味が分ってきました。毎日目にしているはずの当たり前風景の中にはたくさん色で変化があることに気付きました。

「好き」なことからこんなに深く学べる環境にいられるのが本当に幸せです。これから関わっていく人達の人生を彩ることができると自分でも思っています。そのためにも、色をもっと楽しみ、時代と共に変化し成長していく自分でもいたいです。



PCK UP

同じようなファッション系統をしている人は世の中にたくさんいます。その中でいかに自分らしさやオーラ、個性を出せるかは着る洋服も重要ですが、内面的な要素の方がもっと重要であると考え、そのような細かい所で飾れる人こそオシャレな人だと私は思っています。私が作るコーディネートはパワフルをコンセプトにしているので、小物使いを大事にしています。



ショッピングの魅力を 金沢から発信したい

伊東 友季 Yuki Itoh
石川県立内灘高等学校出身 / ファッションビジネス科2年

私の将来の夢はアーティストとしてSTYLEを確立し、地元「金沢」で自身のセレクトショップを出店することです。普段、私が着用している服装は海外から取り寄せた、地元は取り扱いの無いアイテムがほとんどで、県外にあるセレクトショップから購入しています。しかし、県外へ購入しに行くとなるとお金や時間がかかります。現代ではインターネットの普及で店頭に行かなくても商品その場で購入することも可能ですが、実物を見て試着し、お店の方との触れ合いがショッピングの何よりの魅力だと僕は思います。入学して販売の知識、お客様に対する対応を学び、今までと概念が大きく変わりました。様々なお店が点在している現在、セレクトショップを出店するにあたり、他店とは一味違う空間作りと品揃えが求められます。カナブンでは講師の先生方を始め、実際に現場で活躍する先輩方のお話をお聞きすることができました。販売員からデザイナーまで様々な職種が存在するファッション業界。学んだことを活かし、夢の実現へ、日々精進していきます。

PCK UP

両親がバンドをしている影響もあり、昔から音楽に触れ合う時間が多く、15歳の頃にはHiphopを聴くようになっていました。17歳の頃、ふとしたきっかけからRapperとしてのキャリアをスタート。今では県内のみならず、大阪や東京でもLIVEを経験する程に成長。地元「金沢」ではイベントを主催し、北陸を拠点に積極的に活動しています。



FASHION CREATIVE

ファッションクリエイティブ専攻科

ビジネス性と創造性を兼ね合わせた

企画力や市場判断力（マーケティングマインド）を磨き、業界をリードするプロフェッショナルを育成します。

より高度な検定の取得や、産学連携による商品企画の取り組みなど、現場に近い経験を積み、即戦力としてのスキルを身につけます。

実践を通してスキルを、デザインの表現力を磨く

クリエイティブとは創造的なさま、独自のなさま、という意味があります。ネット社会の進展、溢れるモノや情報、そうした時代の急速な変化に伴い、益々差別化・持続が難しくなってきた現代のファッションビジネス。これまで、そうしたクリエイティブは効率化・合理化が各方面で推し進められた中、企業によってはあまり重視されませんでした。しかし、先述のような時代の変化によって、改めて、クリエイティブな発想や、それらを形にしていく知識・技術・感性・感覚が、その重要性を増しています。ファッションクリエイティブ専攻科ではアイデアをカタチにするためのスキルを磨く1年制のコースです。



COURSE コース紹介



ショップマネジメントコース

ファッションクリエイティブ専攻科では今まで学んできた専門知識・技術をベースに卒業後のショップ立ち上げに向け、経営スキルやWebなど、より高度なスキルを学びます。また雑貨 × 作家マーケットなどのイベントにて実際にショップ運営を体験し、ショッププランをより具体的にしていきます。

FUTURE 卒業生の進路

プランナーやセールスマネージャー、ショップ経営、バイヤーや商品企画職として求められる人材。またファッション関連企業の総合職やディレクター、マーチャンダイザーとして世界で活躍していきます。

主な就職先

青山商事(株)、石田屋、(株)リリコーポレーション、オリジナルブランド「ねむねむ」デザイナー など ※順不同

GRADUATE

就職活動は入学してすぐ始まっています!自分はどうな仕事をしたいのかを明確にしてから企業研究をすると、よりスムーズに進められると思います。学校生活では必ず何か目標を持って下さい。なぜその目標を持って、達成するためにどんな取り組みをして、どんな結果だったか。それで何を身につけ、企業でどう活かしたいか。これを語るようにしておくことで安心です。卒業までの2~3年間は短いです。学べることはとことん学んでおきましょう!また、学外の方との関わりもとても刺激的です。是非一度お話ししてみてください。タテマチストリートなどに行けばきっとなにか面白い出会いがあると思います。
青山商事株式会社
/ファッションアドバイザー
中井 健太
Kenta Nakai
石川県立工業高校出身
ファッションクリエイティブ専攻科
2015年度卒業



ABOUT STUDY

自分を成長させるもの それは挑戦!!

昨年の BFR のポスター制作を担当させてもらうことになり、すごく嬉しく、何より得られるものが多くありました。私はアパレル造形デザイン科の学生のようにモードでオシャレな服を作ることはできません。そこで「服づくりを専門的に学んでいる友達に協力してもらおう!」と考え、先生方にもアドバイスをもらいながらポスター用の衣装を制作しました。ヘアスタイルもプロで活躍している先生に協力して頂き、モデルも後輩が力を貸してくれました。それ以外のメイク、撮影、紙の素材、デザインの細部のこだわり、ほとんどのことを周りの人たちが私の想いを汲み取ってくれ、サポートしてくれました。たくさんの人と連携を取り、分担しながら物事を進めることが、すなわち、

私が将来なりたいと思っているディレクターの仕事が、自分一人で動くよりもこんなにも難しいとは思いませんでした。しかし、それぞれ違う分野のメンバーが一人ひとりの強みを存分に活かして、最後には一つの作品になっていくことがとても嬉しくて、楽しくて仕方ありませんでした。これからは一つの目標に向かっていくための方向をしっかりとし示すことができるようなディレクターになりたいです。



川島 凧紗
Nagisa Kawashima
金沢学院高等学校出身
ファッションクリエイティブ専攻科
(現ビジネス専攻科)



PCK UP

今は自分の好きなものをたくさん見るようにしています。自分の「好き」をちゃんと相手に伝えられることが大切だと思ったので、それらのどんな所がどのように好きかをしっかり分析し、ある意味オタクになれるように頑張りたいです! 「好き」が強み・特技になりそれが私の代名詞(商)になってカワシマというブランドがそこに生まれれば嬉しいです。

ワタシと時間割

デザインをすることが好きだったのでそれを活かして、様々なモノ・コトをディレクション、プロモーションしていけるように、3年次の時間割では自分でコンセプトを決めて、パソコンを使ってビジュアルに起こしていくと言うカリキュラムを組んでもらいました。その中には Illustrator、Photoshop の基礎的な操作方法だけではなく、デザイン事務所やグラフィックデザイナーの講師の方の元でのインターンシップも組み込まれているので、より実践的に一つのものが完成するまでを見て、触れることができるのでとても楽しみです!!

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1	09:30 デザインワーク				
	10:20	ファッション ビジネス英会話	販売士検定		
2	10:30				マーケティング リサーチ
	11:20	ファッション ビジネス英会話			
3	11:30	流通業界	デザインワーク		
	12:20			インターン	
4	13:20		デザインワーク		
	14:10				
5	14:20	WEB	トレンド情報		デザインワーク
	15:10				
6	15:20	情報スクラップ	キャリアプラン		
	16:20				
7	17:30		SWOT TIME		

PICK UP CURRICULUM

ファッションについて、広く深く学ぶ



カメラワーク

こんな雑誌を作りたい! 次回のイベントのフライヤーはこんなデザインにしたい! という想いをカタチにしていくためには素材が必要です。ヘア、メイク、モデル、衣装、撮影場所にこだわった、素敵な写真たった一枚で、そうした想いがより明確に伝わるものです。そうしたこだわりの一枚をプロ仕様のカメラやスタジオセットを活用し、仕上げていきます。



web スキル

主にフォトショップやイラストレーターなどのグラフィックソフトを使い、画像の加工技術やデザイン作成技術を通して、紙媒体を電子媒体に変換できるスキルを養います。更に、現代では欠かせない、ホームページやブログ、Webショップの構築スキルや情報発信スキルを幅広く学んでいきます。

3年次

ファッションクリエイティブ専攻科では今まで学んできた専門知識・技術をベースに、雑誌やポスター、フライヤー、Web などの、プロモーションツールの作成に必要なデザインスキルをより高めていきます。クライアントワークの一つとして、本校主催のイベントプロモーションツールの作成を通して、プロがやっている仕事の流れを体得していきます。

Web スキル	ファッションビジネス英会話
ファッションコーディネートⅢ	セールプロモーション
マイブログ	プロダクション
ショップワーク	カメラワーク
トレンド情報	卒業制作

2015 年度卒業生の活動

connect-8

金沢をもっと

『カッコいいまち』にしたい!!



左) 荒谷 和樹 右) 中井 健太

北陸三県(石川・富山・福井)に立地する、感度の高いセレクトショップ(特に個人経営)を紹介するサイト「connect-8」をビジネス専攻科の荒谷さん、中井さんの2人が卒業制作として企画・取材・制作・運営をし、2015 年秋に公開しました。既存の紹介サイトとは違い、ショップオーナーやスタッフの、そのお店づくりや取り扱いブランド・商品、お客様に対する想い、そして、人生観や影響を受けた人物・事象などを「ファッションを専門的に学ぶ学生」の目線で、特に「ヒト」に着目して編集した情報(目に見えないモノ・コト)を文書化(可視化)して発信することが目的です。サイトは目標としていた 2,000 人のビューワーを公開1ヶ月で達成し、取材協力いただいたショップからも「サイトを見て来たというお客様が来店された」という嬉しい声も届いています。

北陸に生まれ、育ち、ファッションを学んできた我々だからこそできることが何かないかと考え実現したこの企画。地元消費者、特にファッションに敏感で、これからのまちの行く末を左右する 20 代の若者に、「地元这么好的お店があったのか!」「あのお店はこんなお店だったのか!」「地元でもこんなお洒落ができるのか!」と気付くきっかけとなって欲しい。彼らのファッション消費の選択肢として、そうしたショップの商品を取り入れてもらうことで、元々金沢が持っているクリエイティブなイメージをより高めたり、地域経済の活性化にも貢献していきたい。また、事実、他県のクリエイターから北陸(特に金沢)のマーケットやセレクトショップを教えて欲しいとの声が多数寄せられており、そうした声にも当サイトは応えられるものと考えています。



ウェブサイトの構築も彼ら自身で手がけている



彼ら自身でデザインした告知フライヤー

SCHOOL LIFE REPORT

学生の1日



登校：ファッションチェック

この前東京で買った服を講師にファッションチェックされちゃったよかわいいって言われたよ。



ファッションビジネス論

ファッションビジネス論の講義はファッションビジネスの基礎知識を学ぶ講義演習なので、気が抜けない!!



セールスワーク

セールスワークの演習で販売ロールプレイングをしたよ。販売のバイト先での悩み相談もすぐに解決できちゃうよ!楽しいな!



ランチタイム

クラスメートとはファッションの話してよく盛り上がります!



午後の授業：ネイル&商品知識

ネイルの演習は基本的なケアからアートまで勉強できて、検定にも対応しているんだよ!
商品知識の講義はファッションアイテムの名前やティータールなど詳しく勉強するから、毎回新しい発見があります!



SWOT TIME(弊社の時風)

今日の講義演習で分からなかったところをSWOT TIMEを使って講師に質問。ティーチャーズスペースで宣言するのがルールだよ。



EVENT

年間行事

- 4月 入学式、前期開始
オリエンテーション
球技大会
就職ガイダンス
- 5月 北陸産地研修
健康診断
就職個人相談会
- 6月 パターンメイキング技術検定(筆記)
ファッションビジネス能力検定(夏期)
雑貨×作家マーケット
- 7月 前期試験
ファッション販売能力検定(夏期)
夏期休暇
- 8月 夏期集中講座
- 9月 後期開始
パターンメイキング技術検定(実技)
森の青空アート
- 10月 新入生願書受付開始
関東・関西研修
カナブン祭
教員認定講習会(Ⅰ)
- 11月 ファッションビジネス能力検定(冬期)
色彩検定
教員認定講習会(Ⅱ)
雑貨×作家マーケット
- 12月 ファッション販売能力検定(冬期)
リリィVSカナブン
冬期休暇
海外研修旅行
- 1月 洋裁技術検定、学年末試験
- 2月 針供養
卒業・進級試験
BUNKA FASHION ルネサンス
(ファッションショー・展示会)
- 3月 卒業式、春期休暇





BFR

卒業進級展示・発表会
Bunka Fashion Renaissance

卒業年次生が中心となり、これまでの「学び」の集大成として製作した作品を展示・発表する本校主催のイベントです。企画・演出・構成・モデルなどすべてを学生が手がけます。



会場は金沢の中心に位置する金沢21世紀美術館。2015年度は2月9日～14日の6日間、1階市民ギャラリーと地下1Fシアター21で開催しました。

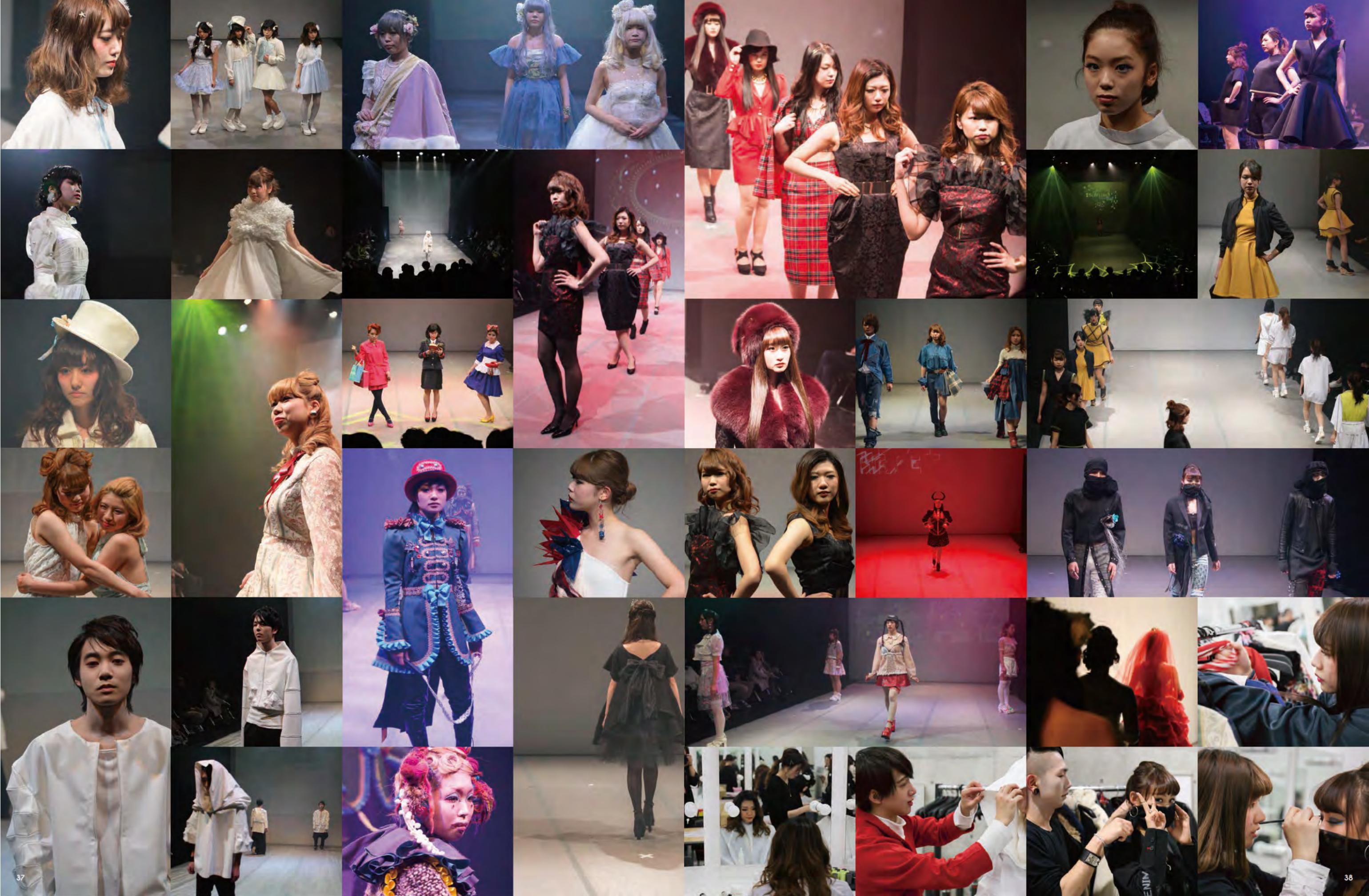


KANABUN FESTIVAL

学園祭：カナブン祭

ファッションショーやダンス、バンドなどのステージイベントの他に、ワークショップやフリーマーケットなど学生・教員が一丸となって盛り上げる楽しいイベントです。





ACTIVITY

学びのフィールドは学外に広がっています

県内外に限らず

各公共機関や団体・企業の方々から様々な

コラボレーションの要請や依頼を頂く機会が増えています。

本校学生はそうした多くの方々との交流や協働作業を通して、

人間的にも技術的にもたくさんのことを学んでいます。



ファブリックに精通した ファッションクリエイターの育成

本年度、本校は文部科学省委託事業 職域プロジェクト「地域連携によるファブリックに精通したファッションクリエイター人材育成プロジェクト」に参画しました。この事業は各地域のファッション系企業の人材ニーズに対応した教育プログラムの開発・実証、社会人や既卒者の学び直しのニーズに対応した学習システムの導入、特色ある教育推進のためのカリキュラム開発などを展開・推進することを目的とした事業です。

石川が誇るファッション企業である「小松精練株式会社」や「山本絹織株式会社」、「金田繊維株式会社」への工場見学はもちろん、特別講師に田山淳朗氏（オリジナルブランド「A.T」「ATSURO TAYAMA」を設立し、現在もパリコレで活躍）を招いて行われた講演・トルチェックは学生たちにとって大変センセーショナルな体験となりました。田山氏からは学生視点では至らなかつた角度から様々な指摘をいただき、早速、今よりもっと良いモノづくりを目指して、学生たちは再始動しております。本校主催のBFRはもちろん、2月9日（火）「服の日」のイベントとして、東京でも展示を行いました。



協働のまちづくりチャレンジ事業 傘澤 Project

6月に開催された《平成27年度 金沢市主宰 協働のまちづくりチャレンジ事業「学生まちづくり部門」》に採択され、本校1年生有志によって企画・進行されているプロジェクト「傘澤」。旧くから「弁当忘れても傘忘れるな」と言われるくらい雨の日が多い金沢。実はそんな金沢では放置傘が社会問題にもなっているそうです。そうした持ち主のいない傘を再利用して、雨の日に対するマイナスなイメージをポジティブに変えると同時に、放置傘を減らしていくための市民の意識を高められたら、という思いで、このプロジェクトは立ち上げられました。活動内容として「雨の日が楽しくなる」をテーマにしたオリジナルの傘デザインコンテスト、コンテスト入賞デザイン画の実物化、それに合わせたスタイリングアイテムの制作とファッションショー、そして、放置傘をリメイクしたオリジナルガーランド制作やリメイクワークショップの開催です。コンテストはA部門（大学生～高校生）、B部門（中学生～高校生）、C部門（園児～小学生）の3部門で開催し、約500枚のデザイン画が集まりました。10月18日（日）のプレイベントでは集まったデザイン画の公開審査とワークショップ、11月8日（日）のメインイベントでは審査結果の発表とファッションショー、ワークショップが行われました。両日共に、多くのお客様にお越し頂くことができました。



D.D の取り組み

コンセプトは、誰もが知っている「デニム」を使用し、斬新なクリエイションとスタイリングで魅せることです。ファッションの可能性を5人のスタイリングで提案し、幅広い年代のお客様に刺激・衝撃・感動を与えます。一人ひとりの個性を出しつつ、衣裳製作・スタイリング・ヘアメイク・ショー構成を1つの企画として打ち出すことは大変難しかったです。その苦難を乗り越え、今でもD.Dは進化し続けております。次に皆様にお見せできる機会がある時、更に進化したD.Dをご覧ください。（担当：ファッションビジネス科2年当麻）



JAFIC インターンシップ

日本アパレル・ファッション産業協会（JAFIC）のプラットフォーム事業が地方の専門学校を対象に東京のブランドにてインターンシップを実施、本校の学生3名が参加しました。アパレル造形デザイン科より岡田さん（石川県立工業高等学校出身）はデザイナー玉井健太郎氏のASEEDONCLOUD、木谷さん（富山第一高等学校出身）はデザイナー天津 憂氏のA DEGREE FAHRENHEIT、山岸さん（石川県立小松明峰高等学校出身）はデザイナー天津 憂氏のHanae Mori manuscritにてそれぞれ実習を行いました。（写真：実習感想インタビュー時。左からアパレル造形デザイン科2年岡田、木谷、山岸）



商品企画

かほく市でゴム入り細巾織物を生産されている株式会社 二口製紐さんと本校がコラボし、商品企画を行っております。市場調査、アイデア出しから始まり、パッケージデザイン、販促方法など全て学生が中心に企画しております。ミーティングを重ねた結果、ゴムひもを使い部屋を彩るウォールストラップを発売。チームワークを保ちスムーズに物事を進め、かつ良いものを作っていくことがいかに大変か学びました。実際に販売をすることでより具体的な話、経験ができ本当に感謝しております。（担当：ファッションビジネス科2年辻元）



関東関西研修旅行

1年生は神戸ファッション美術館にて「デジタル x ファッション」展を見学、アンリアルエイジやソマルタなどのブランドが作り出す空間を体験することで、学生たちの感性を磨く絶好の機会となりました。2・3年生は東京で開催される東京コレクション「Patchy Cake Eater」のファッションショーを見学、翌日にはデザイナーの森野氏から服への想いなどのお話を伺うことができ、貴重な体験となりました。また他にも展示会「LABYRINTH OF UNDERCOVER」、テレビの局衣裳部、ファッションプレスルーム CPR TOKYO さんなども見学させて頂き、大変有意義な研修旅行となりました。



Cattle mutilation によるナイトイベント

Cattle mutilation はみんなでおしゃれを楽しむことを目的として活動しています。10月23日に開催したハロウィンイベントに約50名を超える個性溢れるお客様に来て頂き、良いスタートを切ることができました。当日はチームの紹介やメンバーそれぞれの展示、バンドのゲストをお招きしライブ演奏を行いました。今後はファッションショー、ファッションウォークなどをしていき、北陸に刺激を与え、偏見をなくし、お洒落がしたい人が我慢せず楽しくお洒落ができる北陸にしていきたいです！（担当：アパレル造形デザイン科2年本川・伊勢）



2015年コンテスト受賞

クリエイティブベンチャーシティ金沢のビジネスプランアワード2015にて、本校ファッションビジネス科2年ジョブマネジメントコース（第61期生）の「おかいものフレンズ」が受賞致しました。この試みはベンチャー企業の創出・育成を図るため、金沢市内で事業化を目指す、新しく、独自のビジネスプランを募集、選ばれたビジネスプランには、事業化に向けた支援が行われるものです。また、アパレル造形デザイン科2年山崎さんが全国服飾学校第31回ファッションがコンクールにて優秀賞を受賞しました。

近年の活動実績

- 2008
- アントワープ王立アカデミー在籍 中島輝道さん 作品制作
- 2009
- オークストラサンブル金沢 歌劇「トゥーランドット」衣裳制作
- 雑誌「Clubism」8月号 Tシャツリメイク作品制作
- 2010
- 「ねんりんびっく石川2010」 シニア衣裳制作
- 2011
- 金沢市 学生のまち推進事業 「canazawa campus summit」ショー企画案採択
- 2012
- YOKOHAMA ART DEPARTEMENT 作品展示ショー・販売
- 金沢市 協働のまちチャレンジ事業 学生部門 ショップ企画案採択
- 学生チーム「macaron」x 株式会社メールハウス コラボレーションショー「Maple Show」
- 2013
- カナブン祭@ラブロ金沢 学生バイヤーによるセレクトショップ
- 金澤ファッションコンペティション 作品制作
- 金沢21世紀美術館「フィロソフィカルファッション」講演参加
- 金沢ティーンズミュージカル「Potion」衣裳制作
- 金沢市 協働のまちづくりチャレンジ事業 そめまっし金沢 採択
- 2014
- 金沢市 協働のまちづくりチャレンジ事業 KANAZAWA 福 by 和バンギャルド 採択
- タデマチ学園祭 ファッションショー開催
- 雑貨 x 作家マーケット
- 金沢まちなか宵市 ファッションショー開催

FACILITIES AND LOCATION

学生生活を送る上で大切にしたいことの中に、
 校内施設、立地といった「環境」のことが挙げられます。
 本校の設備・施設は学生が余裕を持って作業に集中できるよう、
 作業スペースやミシン、PCなどの機材を用意しています。
 また、学生ではなかなか手が出せない高額なヴィジュアルブックやビジネス本なども数多く取り揃えています。
 授業内だけに留まらず、SWOT TIME（努力の時間）においてももちろん利用できます。

PART OF SCHOOL

金沢の中心街、犀川のほとりで

ファッションを学ぶために大切にしたいことの1つに、学校立地があります。本校は兼六園や武家屋敷などの旧い街並みと、現代アートを周辺に感じられる金沢 21 世紀美術館などの施設が数多く存在する世界随一の文化都市「金沢」にあるということ、金沢の中心街、ファッションビルや個性的なショップが建ち並ぶタテマチ・香林坊から歩いて5分という魅力的な環境に校舎を置いています。人と情報が溢れ、最新のトレンド

を発信する華やかなこの街はファッションистの感性を刺激するワクワクが溢れているもう1つのスタディーゾーンです。
 校舎の目の前を流れる犀川は学生たちにとって校庭のような存在です。街中にいながら、春夏秋冬の季節を感じることができます。ランチや撮影など様々なシーンで活用しています。



- 1【各科実習室】工業用ミシンやロックミシン、工業用バキュームアイロンを設置。完成度の高い作品作りを学びます。
- 2【パソコンルーム】フォトショップやイラストレーター、パワーポイントなど各種ソフトを幅広く演習に使用。企業の求人検索やエントリーなど、就職活動にも利用できる環境が整っています。なお、空き時間はいつでも自由に使用できます。
- 3【コンピュータ/CAD実習室】コンピュータグラフィック・企画マップ製作や、最新CADシステムでのパターン作成やグレーディング（サイズ展開）、マーキング、縫製仕様書制作などを演習を通して学びます。
- 4【スタイリッシュルーム】カラーコーディネートやメイクアップ、ネイルなど“きれい”を創造する多目的実習スペースです。
- 5【フォトスタジオ】カメラの演習や作品の撮影などに使用し、雑誌やカタログのスチール撮影を実習します。
- 6【図書スペース】最新のファッション雑誌から年代物のデザイナーの資料など多種多様揃っています。デザインソースなどを参考にするために、いつでも自由に使用できます。中には切り抜き可能な資料もあります。
- 7【キャリアプランニングスペース】就職受験に役立つ専門誌や過去の就職活動記録が保管してあります。就職活動に関するアドバイスはもちろん、エントリーシートや履歴書などの書類制作支援、模擬面接などを行う場所です。

MESSAGE FROM DIRECTOR



学院長 村上 武史
成城大学経済学部経営学科卒。(財)I F I ビジネススクールを経て關三越入社。銀座店婦人・ヤングキャリア担当として売り場管理をする。一般社団法人 いしかわファッション協会理事も務める。

学院長からのメッセージ

本校は東京の文化服装学院の連鎖校として 1955 年に開校しました。当時、女性が“洋裁”や着物の“着付け”を学ぶ場として、私の祖父が金沢でスタートしたのが原点です。その後、職業としての“洋裁”を学ぶ学科(アパレル造形デザイン科、デザイン専攻科)と、洋服の“販売”やショップの“経営”などを学ぶ学科(ファッションビジネス科、ビジネス専攻科)の計4学科で編成される学校へと変貌を遂げ、現在に至ります。

私が本校に勤務し約10年。10年前は、まさか 37 歳で学院長という大役を任せられるとは思っていませんでした。昨年度より学院長に就任してから、微力ではありますが、皆様のお力添えをいただきながら、本校の使命、次のことを達成のため、これからも全力を尽くす所存です。

私は本校を『金沢でファッションクリエーションやファッションビジネスを学ぶ場』として、また、『北陸(石川・富山・福井)のファッションに関わるヒトや情報が行き交うプラットフォーム』として、これからも永続的に発展させていきます。

石川・富山・福井の北陸3県は一大繊維産地です。旧くから続く伝統的な技術でオンリーワンのモノづくりを行っている企業もあれば、世界ナンバーワンの最先端技術でモノづくりを行っている企業もあります。また、社内スタッフ全員で“販売”という仕事を研究し、お客様満足を追及し続けている企業や、知人ぞ知る個人経営のセレクトショップがあります。糸、生地の企画・製造、染色、商品の企画・製造・販売の全てが実はこのエリアで完結します。こうした好環境下でファッションクリエーションやファッションビジネスを学ぶことはファッション業界の仕事に就くことを希望する皆さんにとって大変意義深いことだと思います。

また、本校が立地する金沢は武家文化が根付いた世界随一の文化都市です。2015年3月の北陸新幹線開業もあいまって、より多くのヒト・モノ・コト・情報が行き交う都市へと発展していくのだと思います。本校はそれらの中の“ファッション”や“ア

パレル”に関する集結地点であり、発信拠点を目指し、“北陸”で“ファッション”“アパレル”と云えば金沢文化服装学院となれるよう活動を行っています。

例えば、これまで素材提供や見学会・インターンシップの実施、学生の採用を実施して下さった地元産地企業の皆さんとの連携を深めながら、学生に対してはその幅を広げていくことで、学び・成長の機会を増やし、教員を製造現場に派遣することで、その知識・技術のアップデートを図り、より質の高い授業を提供していきます。ファッションが好きな皆さんやファッション業界の仕事に就くことを志す皆さんにとって、また、卒業生の皆さんにとって、そして、一人でも多くの優秀な人財を欲する企業の皆さんにとって、魅力や価値のある教育機関であり続けられるよう、常に改革・改善を進めています。

ファッションは生活・文化。

ファッションを学ぶということは服を通して、様々なヒトの価値観や自分のそれとの違いを知ること、それを受け容れること、それに対して自分の考えを提案すること、互いの生き方を磨き合うことだと思います。我々と共に、ファッションを学びながら、最高に楽しい学生生活を送りましょう!

ALWAYS SUPPORT YOU



あなたの熱い思いをサポートします

本校の講師はそれぞれの業界での現場経験を3年以上積んでいることが必須条件となっています。現場を知っているからこそ、学生に自信を持って指導ができるのです。専門分野だけではなくファッション業界や就職活動、ちょっとした悩みでもいつでも相談に乗ります!

TEACHERS

専任講師・職員

出戸 裕子 / ショップ計数、イラストレーション
金沢文化服装学院ファッションビジネス科卒。株式会社ファイブフォックスに入社。Gabardine K T 香林坊大和店で副店長として活躍。

深谷 絵美 / クリエーション、ブランドプランニング
文化服装学院アパレル技術科卒。羽栗原にて主にセレクトショップ向けの帽子の企画・デザイナーを担当する。

濱田 麻利亜 / クリエーション、アパレルCAD
金城ファッションカレッジ卒。麗やギ・コーポレーションに入社し、オフィスウェアを中心にパターンナーとして経験を積む。

藤井 聖子 / クリエーション、民族衣装
ニューヨーク州立ファッション工科大学パターンメイキング学科卒。その後、3カ国でパターンナーや縫製指導員を務める。

村上 英輝 / ファッション流通、ヘア
資生堂学園 資生堂美容技術専門学校美容師科卒。その後、東京の美容室でスタイリストの経験を積む。

大野 祐貴 / 広報室 室長
私立遊学館高等学校卒。代理店で販売、10代にして店長、北陸エリアマネージャーを経験。北陸で販売実績No.1を獲得。

田村 佳奈子 / 広報
金沢文化服装学院ファッションビジネス科卒。有限会社ムラ・クリエイティブハウスに入社。ビフォーザゲーム金沢百番街リント店で副店長を務める。

山下 沙織 / 事務
大阪外国語大学国際文化学科卒。金沢市役所・金沢学生のまち市民交流館に勤務し、まちづくりや学生に関わる事業を担当。

非常勤 / 特別講師

普段は各自の専門職で活動しながら、本校の学生の教育に携わっています。本校ではここに紹介した講師以外にも各分野で活躍するプロを招いています。

- | | |
|------------------------|----------------------------|
| 非常勤講師 | 特別講師 |
| 荒川 美恵子 / 実践パターン | 石黒 浩也 / 株式会社三越伊勢丹 マネジャー |
| 荒木 敏和 / セールスワーク | 遠藤 彩香 / スタイリスト |
| 五十川 員申 / ビジネスプランニング | 橘田 絵梨香 / Corpo Circus オーナー |
| 石井 伸たろう / 販売士 | 川口 知美 / 舞台衣装家、COSTUMEBO+代表 |
| 板坂 晃幸 / デストラクチャー | 河野 幸人 / フォトグラファー |
| 一二 明子 / ビジュアルコミュニケーション | 越智 伸之 / 株式会社三越伊勢丹 バイヤー |
| 加藤 みか / ドレーピング | 小村 明夫 / Epoch オwner |
| 柴田 昌孝 / セールスワーク | 道守 信也 / LANGS オーナー |
| 下山 和希 / コンセプトメイキング | 富田 憲 / ヘアメイクカミオ |
| 田淵 美樹 / メイク | 林 雅子 / ヘアメイクアップアーティスト |
| 寺西 由佳 / グラフィックデザイン | 松浦 愛 / フォトグラファー |
| 西田 恵子 / ショップデザイン | 水野 雅己 / ファッションイラストレーター |
| 橋本 久恵 / オートクチュール | 宮本 成美 / スタイリスト |
| 久田 香奈 / ファッション色彩学 | |
| 土方 大 / 情報発信 | ほか (敬称略) |

SUPPORT YOUR DREAM

一人ひとりを全力でサポート

就職活動は個人戦です。適正の確認や目標の設定、
なによりも自分の努力次第で結果が変わります。
少人数だからこそ学生一人ひとりをしっかりと把握
し希望する就職を実現するために全力でサポート
することができます。

CARRIER PLANNING

就職を見据えた教育

各分野にて最先端で活躍するプロを育てるため、現場経験を
積んだスタッフが実践的な教育を行っています。また、1年
次より業界の基礎知識や働き方を学べるよう、企業訪問や
インターンシップ、業界にて活躍している特別講師を招いて
の講習会の開催などを行っています。

就職活動を全力でサポート

キャリアプランニングデスク（就職指導部）と各クラス担任
が連携をとり、学生生活から進路指導までをしっかりとサ
ポート。就職活動に関するアドバイスはもちろん、エントリー
シートや履歴書などの書類制作支援、模擬面接なども行って
います。学生一人ひとりの意思をしっかりと把握し、進路指
導を行います。



INTERNSHIP

インターンシップ（2015年度）

就労体験を目的とし、アパレル企業の現場を体験する機会を
設けています。

企業 研 修	関 P.D.HOUSE	作業研修
	丸井織物㈱	作業研修
	南ティップラグ	店舗研修
	関 ツツキ	店舗研修
	関 アンヘルハート	店舗研修
	(注)日本アパレル・ファッション産業協会主催	クリエイターアシスタント研修
スタイ リス ト 研 修	マツオプライダル展示会	アシスタント研修
	GRAND FRONT OSAKA	アシスタント研修
	COLLECTION	アシスタント研修
	セブティーンコレクション	アシスタント研修
	スタイリスト事務所撮影手伝い	アシスタント研修

SCHEDULE

就職支援スケジュール

必要に応じて個別面談を随時実施するなど、一人ひとりに合
わせたいきめ細かな進路指導による支援を行います。

在 学 年 次	4月	就職希望進路調査
	5月	就活トライアル
		産地（企業）研修・首都圏研修旅行
		学内企業説明会
		書類制作支援・面接練習
8月	企業リサーチ	
1月	学年末プレゼンテーション	
2月	進級判定	
卒 業 年 次	4月	進学式
		首都圏企業入社試験開始
	6月	就職希望企業訪問
		インターンシップ開始
	9月	北陸圏企業入社試験開始
	12月	海外研修旅行
	1月	学年末プレゼンテーション
2月	卒業判定	
3月	卒業	

MESSAGE

企業就職担当の声

株式会社ワールドストアパートナーズ 東海北陸人事リーダー 中川 和也 様
「とことん、寄り添う。」

私たちは、アパレル販売のプロフェッショナルとして、お客様の個性にぴったり
フィットし、一人一人に寄り添うことを叶えていく想いを持ち続ける会社です。洋
服を買う時まで楽しんでいただくこと。私たちワールドストアパートナーズの社
員は、お客様それぞれの個性、その時々々の気持ちにとことん「Fit」することを
めざしています。その考え方は採用においても同じです。
皆さんの個性を見つめ、一人一人に寄り添った採用をしたい。日本全国 2700
店舗、100 以上の多様なブランドを扱うワールドグループですから、皆さんの
様々な個性が色とりどりの対応を生み出し、私たちの大きな財産になるのです。
採用では「とことん、寄り添う」ことのできる「添い添える力」をはじめとし、
一期一会に心をこめる「おもてなし力」。違いを楽しみ、個性を光らせる「包容力」。
気持ちを深く察し、気持ちをひとつ添える「聞いて応える力」。やるからには本
気です。プロとしてやりきる力。そして、昨日よりもかっこよく生きようとする「向
上心」。この6 つの力を大切にしてくださる方の採用をめざしています。もちろん、
いきなり全てができる人はいません。約 14000 名の多くの先輩たちも「ファッ
ションが好き」「人が好き」という気持ちを原動力に、日々自分を高めようとが
んばっています。あなたはファッションの仕事に何をそのぞむ人ですか？仕事を通
して自分という人間も磨き続けたい。楽しい人生を送りたい。そんなあなたにぴ
たりとフィットする会社です。

株式会社オンワード樺山 名古屋支店 採用担当 北里 麻里絵 様

「求められるのは『+αのおもてなし』」

オンワード樺山の社員は、みんなで作成した『おもてなしハンドブック』を携
帯しています。全国どのブランドに行っても、オンワード流のおもてなしができて、
全てのお客様が満足してお買い物をされることが最大の目標です。モノが溢れ、
選択肢が多数ある時代、求められるのは「+αのおもてなし」ではないかと考
えます。

また、デザイナーからスタイリストまで一気通貫した思いがないと良いモノづく
りができないと考えます。それぞれの専門性を磨き、意見を交流させ「お客様
の想像を超える創造」を目指しています。金沢は国内外から人が集まる街。そん
なワクワクする“ジモト”で最高のおもてなしをする人財、世界に発信するモノ
づくりができる人財をわたしたちは求めます。

株式会社三陽商会 販売統括事業部 名古屋支店 総務販売人事担当 金岡 知恵 様

「TIMELESS WORK. ほんとうにいいものをつくらう。」

私たちは「いつの時代でも変わらぬ価値のあるものづくり」でお客様に共感・
共鳴され、72年間愛されてきました。「良い服」は会社の信念が作ります。し
かし、その思いは目に見えるモノではありません。その見えない思いを伝えるの
が当社のFA（ファッションアドバイザー）です。
「一枚の洋服が幸せを作り、人生を変えることがある！」私はそう思うのです。
そしてお客様から「ありがとう！」と言ってもらえることがどれほど素晴らしい
出来事なのかを皆さんに知ってほしいと思います。
5年後、10年後にまわりからどんな人だと言われたいですか？私は自分の未来
を信じる後輩をサポートします！

株式会社カラーマーク 代表取締役 大谷 聡 様

「夢、想像力、チャレンジ、自信」

当社は、創業10年を迎え、「多様な事業要素を複合的に組み合わせる」
という新たなビジネススタイルへと変革の歩みを進めています。よほどの強みで無
い限り、ひとつの特性だけでは戦いきれなくなっている昨今のビジネスシーン
において、当社はこれらの特性のブレンドにより「スーパーオリジナル企業」の実
現に向けた取り組みを行っています。実際、営業シーンにおいてファッション、
音楽、文化、エンターテインメントの市場はリンクしていて、それはものづくりと
コンテンツにも言える状況です。それゆえ、当社としては様々なことや多様な分野
に興味を持ち、夢と想像力を持って新しいことにチャレンジしていく若者であつて、
且つその実現を信じて必死に学び、邁進してくれる人材を求めています。そして、
そんな若者にカラーマークの未来をどんどん託していきたいと考えています。

關白 専務取締役 森 浩人 様

「たて糸は人、よこ糸は夢」

石川県は合繊繊維の世界にも類のない一大集散地です。弊社はその中で、婦人服地
の強撚薄地織物（ジョーゼット）の生産に特化した機屋です。高度な撚糸、製織技
術により織り上がった生地は、国内アパレルはもちろんのこと、世界のトップメ
ゾンからも高い評価を受けています。華やかなイメージのファッション業界ですが、
我々の仕事は決してそうではなく、流行の先を見据え、糸、撚糸、織組織を多様に
組み合わせることにより、今までに誰も見たことのない、触れたことのない新しい
生地作りに日々チャレンジしています。それは、「新しい生地がなければ、新しい
ファッションは生まれぬ」という強い自負があるからです。我々が織り上げた
生地に、斬新な Color, Print, Design で化粧することにより、着る人に驚きと感
動そして夢を与え、その生地作りに携わる社員にもモノ作りの楽しさと夢を
与えられる企業を目指しています。

ディーゼルジャパン株式会社 リテール営業部 マネジャー 真部 敬輔 様

「仕事も遊びも全力で」

ファッションが好き!!という方、いろいろなことチャレンジしたい方、常識に
とらわれず、自由に発想できる方、弊社はそうした人材を常に求めています。
そうした人材が集まり、チームとして一体となり、現場から次々と新しいプロ
ジェクトを生み出し、発信していく。そして、常に改革意識を持って、更に新し
いことにチャレンジし続けていく。
プライベートでも、スポーツや音楽・アートなど、多彩な「カルチャー」に親
しみ、感性を養う。仕事にも遊びにも全力でぶつかっていく。「DIESEL」には、
そんな仲間が揃っています。

DATA

就職実績

本校の卒業生に対するファッション業界からの信頼度はたいへん高く、数多くの先輩達がプロとして第一線で活躍しています。これは創立以来 60 年の伝統と実績、そして先輩一人ひとりのファッションへの情熱や誠実で確かな仕事ぶりが評価された結果です。

	服飾造形	流通ビジネス
企業からの求人数	16人	35人
卒業生数	11人	12人
就職希望者数	8人	11人
進学希望者数	3人	1人
内定者数	8人	11人
(地元)	6人	9人
(首都圏)	2人	2人
就職率	100%	100%

※本校に直接依頼のあったファッション企業からの求人数

出身校	就職先
■2007年度～2011年度卒業生	
石川県立穴水	株式会社ワールドストアパートナーズ
石川県立泉丘通信制	株式会社ユニコーン
石川県立金沢商業	ニュースポイント
石川県立金沢商業	株式会社リド
石川県立金沢商業	株式会社ナノ・ユニバース
石川県立金沢辰巳丘	株式会社フィルム (Watanada)
石川県立金沢辰巳丘	ニュースポイント
石川県立金沢西	株式会社アパレル
石川県立金沢西	株式会社エフエム
石川県立金沢西	株式会社アパレル販売代行
石川県立金沢西	株式会社チャンネルアッシュ (JUNICO)
石川県立金沢伏見	株式会社クマモトニット
石川県立金沢伏見	小川商事
石川県立金沢伏見	株式会社リド
石川県立金沢北陵	株式会社ジュングループ
石川県立金沢北陵	株式会社ペラヒビ
石川県立金沢北陵	株式会社ミヤモリ
石川県立金沢北陵	株式会社 y m p a
石川県立金沢北陵	株式会社チュアソナ
石川県立金沢中央	アンヴァレリアーアッシュ (フランス)
石川県立工業	株式会社三松
石川県立工業	青山商事
石川県立工業	株式会社クマモトニット
石川県立工業	株式会社ビルケンシュトックジャパン
石川県立工業	株式会社ファイブフォックス

石川県立向陽	アレクサンダー・リー・チャン
石川県立野々市明倫	株式会社キャン
石川県立野々市明倫	ラリー
石川県立津幡	株式会社ワールドストアパートナーズ
石川県立津幡	株式会社ワールドストアパートナーズ
石川県立小松市立	株式会社アグスタリア
石川県立小松市立	株式会社ビルケンシュトックジャパン
石川県立小松市立	株式会社ワールドストアパートナーズ
石川県立小松工業	アルテックス
石川県立小松工業	株式会社ワールドストアパートナーズ
石川県立小松明峰	株式会社コヤナギ
石川県立文華寺実業	ニュースポイント
石川県立織栄	株式会社ライトオン
石川県立加賀繁城	株式会社リコーポレーション
石川県立能都北陵	株式会社ジャックポレーション
石川県立能都北陵	ニュースポイント
石川県立羽咋工業	株式会社グループ
石川県立羽咋工業	ニュースポイント
石川県立羽咋工業	株式会社クロスカンパニー
尾山台	株式会社アンビテックス
造字館	株式会社カメダ
造字館	株式会社キャン
造字館	株式会社ワールドストアパートナーズ
造字館	株式会社キャンアライナーナショナル
金沢	株式会社バル
金沢	株式会社ジュン・タシロ
金沢市立工業	株式会社カバード
小松大谷	株式会社アグスタリア
高山県立魚津	株式会社メタロンジャパン
高山県立雄山	株式会社デザイン
高山県立雄山	株式会社ビッキー
高山県立雄山	株式会社リド
高山県立横井	アンドロ (セレクトショップ/金沢)
高山県立横井	株式会社 P D HOUSE
高山県立横井	ニュースポイント
高山県立横井	株式会社尚時女
高山県立新湊	株式会社フェニックス
高山県立高岡工業	株式会社マツノ
高山県立高岡工業	株式会社オンワード
高山県立高岡商業	株式会社モリワン
高山県立高岡商業	株式会社ミヤモリ
高山県立中央商業	株式会社ワールドストアパートナーズ
高山県立砺波工業	株式会社ファイブフォックス
高山県立高山いずみ	株式会社エフユニット
高山県立高山商業	株式会社エヌエスプレーン
高山県立高山商業	株式会社ワールドストアパートナーズ
高山県立高山商業	株式会社エフェメール
高山県立清川	株式会社スズニット
高山県立入善	株式会社フォルム
高山県立氷見	株式会社ジュングループ
高山県立福岡	株式会社ワールドストアパートナーズ
高山県立福岡	株式会社ラップール
高山県立南砺総合井波	和装いしはた
高山県立有徳	株式会社フォルム
高岡西陵	株式会社ルック
高岡龍谷	株式会社クレヨン
高岡龍谷	株式会社リド
高岡龍谷	株式会社カメダ
高山第一	株式会社モンベル
麓谷高山	株式会社アトリエヨシダ
麓谷高山	株式会社ワールドストアパートナーズ
福井県立科学技術	株式会社
福井県立金津	株式会社アロー
福井県立坂井農業	株式会社ワールドストアパートナーズ
福井県立羽水	株式会社コネクト・エス
福井県立羽水	株式会社アンティフリーズ
福井県立羽水	株式会社コネクトエス
福井県立柔方	株式会社コネクト・エス
福井県立三國	株式会社ワールドストアパートナーズ
福井県立三國	フリーランス (スタイリスト/アシスタント)
宮崎県立都城農業	株式会社 P. D. HOUSE
メリノール女子学院	株式会社コックス
北陵大学	
■2012年度卒業生	出身校/就職先
石川県立金沢西	株式会社イオンタウン
石川県立工業	株式会社アイジーエー
石川県立工業	株式会社青山商事
石川県立工業	株式会社クマモトニット
石川県立工業	株式会社ビルケンシュトックジャパン
石川県立工業	株式会社アドバンス

石川県立津幡	株式会社リコーポレーション
石川県立津幡	株式会社波邊
石川県立野々市明倫	株式会社フォルム
石川県立七尾東雲	株式会社カワウクス
石川県立七尾東雲	株式会社ロウンチ (古着店/金沢)
石川県立泉丘通信制	株式会社アイランド
美川特区アットマーク国際	株式会社エグビス
高山県立高岡工業	株式会社ミヤモリ
高山県立高岡工業	株式会社アロー
高山県立高山北部	株式会社ユニテッドアローズ
高山県立高岡商業	株式会社アイジーエー
高山県立伏木	株式会社ワールドストアパートナーズ
福井県立福井農林	株式会社ファイブフォックス
金沢学院大学	株式会社ベクル
金沢学院大学	株式会社北極エステアール (協会)
京都産業大学	株式会社ヒット工業
■2013年度卒業生	
石川県立金沢辰巳丘	株式会社アグスタリア
石川県立金沢商業	株式会社シンゾー
石川県立金沢商業	株式会社オンワード
石川県立金沢中央	株式会社ナウ
石川県立工業	株式会社エース
石川県立工業	株式会社ヤギコーポレーション
石川県立松任	株式会社キャンアライナーナショナル
石川県立松任	株式会社エーピーシー・マート
石川県立大聖寺実業	株式会社ワールドストアパートナーズ
石川県立大聖寺実業	株式会社ニストリー
石川県立小松工業	株式会社トリプルインターナショナル/ジャパン
石川県立織字園	株式会社 FAVOR
石川県立七尾東雲	株式会社北陸モンベル (羽咋工場)
星陵	株式会社 BABY, THE STARS SHINE BRIGHT
高山県立雄山	株式会社ロングラン
高山県立高岡工業	株式会社バル
高山県立高岡商業	株式会社龍野
高山県立小矢部聖雲	株式会社ぶどうの木
高山県立石動	株式会社ワールドストアパートナーズ
高山県立高山北部	株式会社サマサタパサジャパン/リミテッド
高山県立二上工業	株式会社フースターサイ
高山県立二上工業	株式会社オンワード
福井県立三國	株式会社丸福織物
石川県立大学	株式会社モンスター
■2014年度卒業生	
石川県立金沢辰巳丘	株式会社石田屋
石川県立金沢伏見	株式会社クレヨン
石川県立金沢伏見	株式会社フリーズインターナショナル
石川県立工業	株式会社パレリー
石川県立小松市立	株式会社 FAVOR
石川県立田鶴浜	株式会社ナイスクラブ
石川県立門前	株式会社クマモトニット
高山県立高岡工業	株式会社日谷組
高山県立高岡工業	株式会社ファイブフォックス
高山県立石動	株式会社ミヤモリ
高山県立南砺瑞野	株式会社オンワード
高山県立高山商業	株式会社三福商
高山県立高山西	株式会社ファイブフォックス
高岡龍谷	株式会社ワールドストアパートナーズ
東京服飾専門学校	株式会社ファイブワンファクトリー
■2015年度卒業生	
石川県立金沢北陵	株式会社リコーポレーション
石川県立工業	株式会社青山商事
石川県立工業	株式会社スタイルバンク東京
石川県立小松明峰	株式会社イズム
石川県立宝達	株式会社アイジーエー
石川県立加賀	株式会社クマモトニット
石川県立宝達	株式会社メオ
石川工業高等専門学校	株式会社松本
尾山台	株式会社リコーポレーション
尾山台	株式会社イーゼルジャパン
造字館	株式会社クレヨン
高山県立入善	株式会社カメダ
高山県立南砺瑞光	株式会社ゴールドウイン
高山県立志賀野	株式会社ファイブワンファクトリー
高岡第一	株式会社アパレルハート
高山国際大学附属	株式会社 HUMB&Go
福井県立三國	株式会社ヤマダ
福井県立丹生	株式会社ジャパンイマジネーション
	株式会社 順不同・敬祐略

PICK UP

卒業生の就職先紹介 株式会社ミヤモリ

株式会社ミヤモリがどんな企業なのか、宮森会長にお伺いしました。

会長「弊社は1966年に富山県小矢部市創業して今年がちょうど50年という節目の年になります。スポーツウェア専業の縫製工場として創業いたしました。現在は富山県と鹿児島県に生産拠点をもち、設計試作から刺繍、プリントなどの二次加工、製品までの一貫生産体制を確立し、スポーツ、カジュアル&スリムウェア、レディースウェアなど多様なアイテムに対応するパレレル生産企業として日々取り組んでいます。昨年度は弊社の新しい取組として非パレレル分野に向けて、素材から開発したロボット用防護ウェアが特許を取得することができました。同時に富山県ものづくり大賞の特別賞を受賞することができ、商品としての新規性を評価いただきました。大手電機、機械メーカーなどからの引き合いも増えてきており将来の事業の社の一つになるよう育てていきたいと考えております。弊社も50周年の節目を迎え、大きく変わろうとしております。「継続は力なり」と言いますが、

時代の変化に対応することなしに企業の存続はありません。次の10年を見据えて従来までの縫製加工技術やOEM機能に加え、今後は素材の開発や、自主企画商品の提案、販売など更なるステップアップを目指しております。弊社ではそのための人材を求めています。好きこそものの上手なれとありますが、ものづくりが好きの方、興味のある方。私たちと一緒に次のミヤモリを創りませんか。お待ちしております。」

活躍している5名の卒業生にお話を聞きました。社会人になってから学生時代と変わりましたか？

氷上「服作りの知識が増えた。CADを操作するスピードが上がった、ミシンを縫むスピードが上がった。責任感が強くなった。」**在田**「社会人になり、毎日忙しいので時間が経つのがすごく早く感じるようになりました。仕事をするとともに限られた時間の中で、いかに効率よく生産するかに意識して仕事に取り組むようになりました。」**中島**「服を作る際、学生時代は基本的なルールに従って作っていましたが、会社に入るとその会社の独自の仕様や仕事の流れがあるので、まだ

株式会社ミヤモリは「一流のブランドに、一流の価値を」をモットーに、長きに渡るノウハウの蓄積による優れた生産力・技術力・洗練された感性による、高い機能性とデザイン性を兼ね備えたスポーツウェアやカジュアルウェアから工業製品までの企画製造を幅広く手掛けるメーカーとして、富山県は小矢部市に拠点を構え、多くの企業から信頼を得ておられます。同社には本校アパレル造形デザイン科の約3~10年前の卒業生5名が在籍しています。会長の宮森氏と卒業生にお話を伺いました。

まだ覚えることがありますが、一生懸命勉強していきたいと思います。」**金子**「学生時代は、一日のスケジュールが組まれていて科目ごとの授業を開発や、自主企画商品の提案、販売など更なるステップアップを目指しております。弊社ではそのための人材を求めています。好きこそものの上手なれとありますが、ものづくりが好きの方、興味のある方。私たちと一緒に次のミヤモリを創りませんか。お待ちしております。」

活躍している5名の卒業生にお話を聞きました。社会人になってから学生時代と変わりましたか？

氷上「服作りの知識が増えた。CADを操作するスピードが上がった、ミシンを縫むスピードが上がった。責任感が強くなった。」**在田**「社会人になり、毎日忙しいので時間が経つのがすごく早く感じるようになりました。仕事をするとともに限られた時間の中で、いかに効率よく生産するかに意識して仕事に取り組むようになりました。」**中島**「服を作る際、学生時代は基本的なルールに従って作っていましたが、会社に入るとその会社の独自の仕様や仕事の流れがあるので、まだ



実際にものづくりをしてみて学ぶことが多いと思います。」**田端**「服作りに関する基本的なこと(パターン、裁断、縫製、ミシンなど)のことを学生時代勉強したので、そのことがミヤモリで現在のCADの仕事においてパターンを引く際にも活かしています。」

会社のいいところを教えてください！

氷上「人間関係が良い。(上司の方も皆さん優しく接して下さる。同世代も多く、仲良くできる人がいる)」「**在田**「従業員同士が良く、困った時にはお互い助け合える環境にあります。仕事中は集中してお互いレベルアップに向けて日々努力しています。」**中島**「とにかくみなさん優しいです。自分がわからないことは、わかりやすく一つ一つ丁寧に教えて下さり、分かるようになるまで教えてください。」**金子**「ミヤモリは年間100万枚を生産する量産が縫製工場です。水着を中心に様々な商品を作っています。優しい人が多く会社の雰囲気も良いです。日々目標に向かい努力しています。難しい商品に挑戦する際は大変ですが、やりがいがあります。」**田端**

「色々な年代の方がいますが、みんな仲良い。良くしてくれる。勉強する機会を与えてくれる(研修、出張、検定など)」「**これからファッション業界で活躍する後輩たちへメッセージをお願いします。**

氷上「学生時は、課題も多くいっぱいになることが多分多いと思いますが・・・課題をこなした分だけ自分の糧になると思います。病まない程度に頑張ってください!専門時代の2~3年間はあつという同年代で思いっきり楽しんで下さい!」「**在田**「現在は量産の工場での勤務なので、生産ラインでミシンを踏んでいることが、ほとんどです。その中で、デザインした方、買っているお客様の顔を思い浮かべながら、日々仕事に取り組んでいます。是非これからファッション業界で活躍される方にも「益のため」「何のため?」と考えながらとにもがんばりましょう。」**中島**「ファッション業界といってもいろいろあります。デザイナー、パタンナー、生産工場、商社、販売店などあればキリがありません。どの仕事も「楽しい」と思っているこ

とが大切だと思います。」**金子**「社会に出るときさまざまな人に出会います。社内の人、取引先の人さまざまな人に出会います。その中で価値観が変わったり、もっと努力しようと思ったりします。そうやって成長していくのかな?と現在は思っています。遊びも勉強も思いっきりして、つらいことも楽しみながら乗り越えていける人になってほしいなと思います。お互い明るい未来に向かってがんばりましょう。」**田端**「パタンナーを目指している人へ。」「パタンナー」とはパタンナーのことだけ理解して作っているだけでは駄目です。ミヤモリでパタンナーとしてやっていくためには「縫製」「裁断」「アパレルCAD」「仕様書作成」など・・・まだまだやらなければならないことは沢山あります。色々なことを理解して、パタンナーを作らなければならないのです。ここまで覚えるのにかかり時間がかかりました。今は担当するブランドさんも変わったので、また、新しいことを覚えていかなければなりません。社会人になっても毎日勉強になることばかりです。色々な経験をして、自分の知識、技術につながると思

氷上「締切りの大事さ→仕事では納期があるので。服に対する気持ち。(完成度の高い服を作る)→今の仕事では、きれいに服を作ればお客様からの評価も上がるので。」**在田**「学生時代に学んだことが今の仕事でどう活かされているのか量産ラインにて仕事しているときも、型紙を見ることがありません。自分で目標設定して、日々目の前の仕事に取り組むようになったと思います。改めて社会人と学生時代と変わったことを振り返ると「考える」ことが多くなったと思います。現在の自分のレベル、目標としている自分のレベル、会社が自分に求めていること、などなどキリがありません。しかし「考える」ことで学生時代の自分よりは、レベルアップしているのではないかな。と思っています。」**田端**「責任感が強くなった。知識が増えた(工業用ミシンの扱い、縫製、CAD、裁断のことなど)。精神的に強くなった。よく考えて仕事をするようになった。」

学生時代に学んだことが今の仕事でどう活かされていますか？

います。ミヤモリで色々な経験をさせてもらったからこそ・・・大手ブランドさんのパタンナー作成した物が全国発売されたこともありました。「自分の手掛けた物が商品になる」のが私の夢でもあったので嬉しかったです。これからファッション業界を目指している人へ。諦めなければ夢は叶うと思います。頑張ってください!」

※写真左から
在田奈央
アパレル造形デザイン科3年(現デザイン専攻科)2013年度卒業
富山県立高岡工業高等学校出身
水上遥
アパレル造形デザイン科3年(現デザイン専攻科)2010年度卒業
石川県立金沢北陵高等学校出身
中島環衣
アパレル造形デザイン科2014年度卒業
富山県立石動高等学校出身
田端紗織
アパレル造形デザイン科2006年度卒業
富山県立なみ野高等学校出身
金子翔平
アパレル造形デザイン科2008年度卒業
富山県立高岡商業高等学校出身

STUDY AT HERE

金沢で学べるという価値

石川・富山・福井の北陸3県は一大繊維産地です。特に合成繊維織物生産量は全国シェアの約60%を占めている他、撚糸・製織・製編・染色加工などの各工程において、高い技術力を有する企業が集積している点が特徴の産地です。旧くから続く伝統的な技術でオンリーワンのモノづくりを行っている企業もあれば、世界ナンバーワンの最先端技術でそれを行っている企業もあります。

また本校が立地する金沢は、武家文化が根付いた世界随一の文化都市です。兼六園や長町武家屋敷跡、東茶屋街をはじめとする旧くからの観光名所だけでなく、金沢21世紀美術館や金沢海みらい図書館のようなモダンな建物も市内・外の様々な人々から愛されています。

2015年3月の北陸新幹線開業もあいまって、より多くのヒト・モノ・コト・情報が行き交う都市へと、今後も発展していくのだと思います。

こうした好環境下で、ファッションクリエイションやファッションビジネスを学ぶことはファッション業界の仕事に就くことを希望する皆さんにとって大変意義深いことだと思います。実際に本校では産地見学・研修だけに留まらず、産学連携で新商品の企画を行ったり、インターンを実施したりして、学生のモノづくりや産地に対する理解をより深めるための様々な取り組みを行っております。



アパレルメーカー

年4回の展示会ではオリジナル企画の製品にプリント加工や様々なテクニックを詰め込み、県外の百貨店やセレクトショップに提案を行っている。また、地元のテキスタイルメーカーとも共同で生地を開発を行うなど、国内有数の繊維産地の背景を最大限に活かし、他ではマネができない商品開発を行っている。自らの持つ強みとそれを活かせる環境で、新たなモノづくりが生まれるきっかけを創出することで、他がマネできない「株式会社カメダ」のファッションが作り上げられていく。

「株式会社カメダ」(石川県白山市)



伝統工芸

友禅染を考案した宮崎友禅齋が加賀へ移り住み、加賀のお国染めであった「梅染め」を取り入れたことで加賀友禅が確立されていったと伝えられている。「京友禅が色鮮やかで金箔を用いるなど雅な趣であるのに対し、加賀友禅は落ち着きのある写実的な草花模様を中心とした絵画調の柄を特徴としている。加賀友禅は伝統的な技術を継承しながらも時代に合った作品づくりが必要である。」と三代目 毎田 仁嗣氏は語る。

加賀友禅「毎田染工芸」(石川県金沢市)



撚糸

靴下や手袋、ストッキングに使われるカパーリングヤーンを製造している。これからは現場作業の自動化を目指し、自社製品の販売と営業に力を入れていきたい。そのためにも製品のデザインやパッケージのデザインにも力を注ぎ、より魅力的に市場(マーケット)に提案をしていく必要がある。

「有限会社 小山カパーリング」(石川県かほく市)



細幅織物

ゴム入り細幅織物を生産しており、代表的なものとしてはパジャマやトレーニングウェアのウエスト部分に使われる平ゴムがある。下掛けだけでは終わらない自社の技術を判り易い形で提案できるデザインが求められる。作るだけではなくユニークな見せ方にも力を注いでいきたい。

「株式会社 二口製紐」(石川県かほく市)



染色加工(ポリエステル)

ポリエステル糸への染色(先染め)と特殊加工を行っている。染色可能な糸種は幅広く対応することを可能にしており、ロットが異なるリピート発注に対しても高い色調再現性を実現し、今までに積み上げた色数は3万色を超えている。「お客様の急な要望にも小回りを利かせ、対応できるのが強み。」

「株式会社 シコー」(石川県白山市)



絹織物

城端絹織物の起源は、戦国時代末期の大正時代とされており、江戸時代には富山県の城端市と石川県の小松市で織られた絹織物が「加賀絹」とされ、城端の絹織物業の最盛期には街の至る所から機織りの音が聞こえて来たと言う。現在、富山県で「しけ絹」を製織しているのは唯一「松井機業」のみ。

しけ絹「松井機業」(富山県城端市)



ニット

国内外のコレクションブランドからも信頼を置かれるニットメーカー。「規模は小さくても、品質への追求はこれからも徹底していきたい。社員の縫製技術の均一化を目指し、弊社の技術を元にデザイナーにデザインの提案ができる社員を育てていきたい。更には自社での商品企画を将来的に行っていきたい。」と語ってくれた。

「株式会社クマモトニット」(石川県能美市)



ジャカード織り

シャトル織機を使ったジャカード織の絹織りものを中心に、ネクタイ、スカーフ、マフラー、ハンカチなどを製造している。生地は負担を掛けずゆっくりと織られるため、仕上がりがふっくらとして、模様も凹凸感のある立体的なものになり、コンピューター制御で合理的に作られる生地にはない温みのある生地ができる。生産効率を求めた方法では作ることができない風合いの生地を自社では作ることができる。

「株式会社 マイテックス」(石川県能美市)

MESSAGE FROM TEACHERS

夢を夢で終わらせないために

講師から受験生の皆さんへメッセージ。

カナブンでは現場の第一線で活躍するプロが、現場に必要な専門知識・技術だけでなく、生き方や仕事に対する姿勢などを本気で指導します。



学ぶことを通じて 成長する喜びを感じてほしい

荒川 美恵子

フリーランスパタンナー

アパレル造形デザイン科 実践パターン担当講師

(株) ヤギコーポレーションに入社後、パタンナーとしてキャリアをスタート。同社退社後は東京を拠点に大手有名メーカーと専属契約するなど第一線で活躍するフリーパタンナーに師事する。その後、同パタンナーが立ち上げた(株)キティコーポレーションアパレル事業部 P.O.C=現(株)P.O.C に所属。外注パターンメーカーとして多くのブランドのパターンを手がけている。UNITED ARROWS、SHIPS、BEAMS、ローラアシュレイ、伊勢丹、ユニクロ、フランドル、グランドグループなど他多数。2007年より本校非常勤講師に就任。2012年より金城短期大学美術学科ファッション・工芸コースにおいて講師を勤める。

PICK UP

外注パターンメーカーとして、現在はニューヨークデビューされるメーカーさんの展示会商品に主に取り掛かっているところ。写真は某大手通販メーカーの試作品。



これをお読みいただいている皆さんは少なからず「ファッション」に興味・関心ある方だと思います。おしゃれが好き、コーディネートは楽しい…でも、それを仕事としては捉え難い。そんな方も多くいらっしゃるのではないのでしょうか？

ファッション業界の仕事と言えば、デザイナー、パタンナー、プレス、バイヤーなど、一度は聞いたことのある、でも実際はどんな仕事なのか分かりづらい職業をイメージされるかもしれません。

私は約 20 年、パタンナーとして仕事をしております。もともと、高校生の時にパタンナーという職種を知り興味を持ちましたが、ファッションを学び始めてからはデザイナーになりたいと思うようになりました。まだ漠然としていた頃です。社会人となり希望通り企画部に配属されましたが、急速、パタンナーチームへの変更という思いがけない展開となりました。デザイナー、パタンナーどちらにしても、洋服を作る仕事に関わることなので、とにかく目の前の仕事には真摯に向き合い、一生懸命こなしてきました。そうするうちに、平面から、立体美を生み出すパタンナーの仕事の醍醐味を知り、いつしかパタンナーとしての成長を望むようになりました。そして、恩師や先輩からの力添えを頂き、仕事の幅も増え、たくさんの方々に支えられ、現在に至っております。

大切なのは、自分の将来を想像した時、自分が本当はどうなりたいか、どう生き方がしたいのかをビジョンとしてしっかり持つこと。それが、目指す仕事、生活そのものであると私は思います。まだ見つからない場合は、まず好きなこと、興味のある世界へ飛び込んでみる。そして、一つ一つ進んで行くこと、目の前の課題をクリアしていくこと、そうしているうちに自分が見えていなかったことも見えてくる、あるいは新しい自分に出会う。そこから、最良の自分を目指して努力を重ねて行くことで、実は生きる喜びを感じることに繋がると思うのです。服が好き、ファッションに興味があるという方、是非、一緒に少しずつ前進しませんか？ また、私は現在、ここ金沢で、主に関東・関西地区のメーカー様の依頼を受け、仕事をしておりますが、ファッションを学んだのもここ北陸の地でした。

金沢は、確かに都会に比べると、地方であり、最新で斬新な刺激は少ないかもしれませんが、時代は変わり、今はインターネットで欲しい情報はすぐ手に入り、人とのコミュニケーションもリアルタイムで行えます。また新幹線も開通し、日本のファッションの中心とされる東京はさらに近くなりました。その気になれば、すぐに都会の「刺激」は手に入ります。そして北陸には、昔から伝統工芸をはじめ、織物産業など、一流のものづくりが盛んで、確かな技術と感性、こだわりのものづくり精神がしっかりと根付いています。それは人との繋がりを大切にし、四季折々の自然美を身近に感じ、それを生活に活かすという精神が脈々と受け継がれてきた「文化」ならではのものです。これからの時代、この「文化」という空気感を味わいながら生活をし、学び、感性を磨き、そしてその感性と技術を日本中、そして世界へと発信していくスタイルへと変わって行くのではないかと、またそうあるべきと感じています。

金沢の文化の中で、「金沢」「文化」服装学院で、ファッションを学び、いろいろな経験や活動を通して、きっとあなたが新たに目指す道が見えて来ることと思います。



企業や社会が求める 「自分で考える」力のある人材を 販売の授業を通して育てていきたい

柴田 昌孝

リリィグループ・
株式会社リリィコーポレーション・
株式会社リミーナ・インターナショナル代表取締役

ファッションビジネス科 セールスワーク担当講師

大学卒業後、呉服チェーン「やまと」入社。呉服トップセールスマンとして活躍後、8年の勤務後、退社。地元富山に戻り、レディスセレクトショップを開店し、地域一番店に成長させる。その後、家族とパートタイマーの4名だった会社を10年間で、35店舗、年商30億、120名の会社に成長させる。現在は、会社経営と同時に、全国規模で講演とセミナー、書籍執筆、月刊誌連載、専門学校講師、コンサルタント活動をこなす。著書に11回の重版を重ねるベストセラー「ありがとう」といわれる販売員がしている6つの習慣」、最新刊「愛される店長がしている8つのルール」(同文館出版)、共著「ファッション販売員 プロの常識 BOOK」(商業界)がある。

PCK UP

販売員について真剣に考え抜き、セールスワークを体系的に記した著書。1年次では「ありがとう」といわれる販売員がしている6つの習慣」を教科書として使用している。



私は現在、北陸中心に30店舗のレディスとメンズのアパレルショップを運営すると同時に、金沢文化服装学院のセールスワークの授業を担当する非常勤講師を勤めております。また10年前より、SHIBUYA109を初めとする日本全国の商業施設やワールド、オンワード樺山といった日本最大の大手アパレル、ネットトヨタ、JR各社、郵便局株式会社などの企業など、のべ国内400回以上の接客・販売のセミナー講師をさせていただいております。(北陸では大和百貨店、香林坊109、イオンモール各店、アピタ各店、駅ビルなど多数。)

そんな私がこの金沢文化服装学院で、セールスワークの講師を担当したいと思っただきかけは、日本全国で講演をさせていただき、たくさんのサービスパーソンと出会う中、サービス業において、やや後進的なこの地元北陸で、ぜひ全国レベルで通用する接客サービスパーソンを育てたいという思いからです。

サービス業、接客業において最も大切な事は「自分で考える」という臨機応変な対応力です。マニュアル通りの対応ではなく、時にはマニュアルにない対応が求められるのが接客業です。

だからこそ私の授業では、これといった「答え」を容易に学生には与えていません。間違えば訂正しますが、答えは学生のみなさんが考えて探し、自己成長してもらいたいからです。近年の学生はマニュアル通りのことをするのは上手でも、マニュアルにないことには歯がたたないことが多く、対応力に欠ける部分が多いからです。

接客と同じように、社会に出れば様々なぶつかる問題や岐路において、これという明確な答えはありません。だからこそ、まず経験し、自分で考え、自分で探す力が求められます。これからの時代、社会が求める人材は知識をたくさん有した人材よりも、基本をふまえた上で自分で考える力がある人材です。そんな人材作りを私は授業を通してやっていきたいと思っています。



また、企業経営者としての側面から、社会に求められる人格を有する人材を作り、社会の期待に応えられる人材を作り上げていきたいと思っています。

最後になりますが、この金沢という地において、全国レベルの販売教育レベルの授業を提供できるために、私も日々、学生のみなさんと共に自己研鑽、自己成長し、期待に応えていける講師として、がんばっていきたくと思っています。みなさまと金沢文化服装学院でお会いできますことを心より楽しみにしております。



ファッションの世界に 新たな風を巻き起こす 人間を作っていきたい

五十川 員申

cafe? IKAGAWA DO オーナー
/Code for Kanazawa 理事

ファッションビジネス科 ビジネスプランニング担当講師

大学、大学院と機械や流体力学を学び、大学院の時には一年間の派遣留学でアメリカの大学へ。日本の大学とアメリカの大学の大きなギャップを感じ、新たなものを生み出すには人や文化のミックスが必要と、大学院卒業と同時に自身のオフィス兼カフェという形で cafe? IKAGAWA DO を開業。自身の仕事の傍ら、地域の問題をITの力で解決する一般社団法人 Code for Kanazawa を仲間と立ち上げ日々活動をしている。

PCK UP

留学中、大学周辺にはたくさんのカフェがあり、そこで多くの学生が相席をしながら勉強し、語り合っていました。地域の人、大学の教授、経営者、様々な背景を持つ人々がカフェに集い、偶然あった自分とは違う価値観の人と気軽に出会い、語り合える環境がありました。

新しい価値を生み出すには、今までとは異なる視点から自分を見つめ直すという方法の一つです。違う価値観の人と触れ合うことで今まで気が付かなかった価値に気づき、新しい価値を生み出せる。そんな場所は「Café」だ!と思いました。

帰国後、「近くにあんなカフェあったらなあ」と思い、自分で「五十川堂」をつくりました。今、五十川堂は、学校、学科、地域、仕事、性別の垣根なく多くの人が触れ合える場所になっています。ここから起業した人がいたり、新しいイベントをはじめ人もいます。「五十川堂」は「新たな価値を生み出す場所」としてつくりました。



私は、大学時代に感じた学内の縦割り感や、地域とのつながりの希薄さに問題を感じ、地域、学校、学科の垣根を越えて集えるカフェを経営しながら、企業でのICT技術(※1)の導入に関するコンサルティングや大学での起業家創出の授業などをしています。また、自身でも身近な問題を解決するwebサービスを仲間と作っています。

私が活動するIT業界では、ここ最近多くのファッションに関わるwebサービスやアプリケーションがリリースされています。しかし、多くのサービスを覗いてみると、ファッション業界のビジネスにおいて問題点を見つけ挑戦している他業種の方が多いのも事実です。

金沢文化服装学院はファッションの専門学校のため、プログラムを書いて新たなサービスをつくるというのは難しいかもしれませんが、既存の店舗販売やEC(※2)という販売方法ではない形を創出できる人材が育成できればと思っています。



ここ金沢はいつもの伝統工芸が残る日本有数の都市です。日本が近代化を進めた時代、日本の伝統工業が衰退した時代においても、よいもの、きれいなものを見極め、お金を出してきた人々がいたということ、金沢にはそういった土壌が根付いています。そのような都市でファッションデザインを学び、ファッションビジネスを発信していくということは、とても幸せなことだと思います。世界に堂々と「金沢です」と言えるのもよいのではないのでしょうか?

私が世界にファッションを新しい形で多くの人にとどけてやる!という方、一緒に新たなビジネスを創り出しましょう。



※1…情報処理及び情報通信(コンピュータやネットワークに関連する諸分野)における技術・産業・設備・サービスなどの総称。ITと同義語であるが世界のみなら日本でもITに替わる語として用いられている。
※2…インターネットやコンピュータなど電子的な手段を介して行われる商取引の総称。Webサイトなどを通じて企業が消費者に商品を販売するオンラインショップのことをECと呼ぶこともある。



「自分」という素材を活かす手法を学ぶ

川口 知美

COSTUME80+ / 舞台衣装家

アパレル造形デザイン科 / ファッションビジネス科
ファッションコミュニケーション特論担当特別講師

私がファッションの道を選んだのは、技術の取得と、技術者ならばあまり人と関わらずに済むだろうと言う先入観からでした。そうしてファッションを学んだ後、友人の誘いで偶然にも舞台の世界と出会いました。

舞台衣装家は作家やスタッフと共に架空の世界を作り上げる仕事です。衣装を通じあらゆるジャンルの人と出会い、一つの作品を作り上げるために行う対話や共同作業は、様々な美学や価値観を体感する機会となりました。この他者との対話が不可欠な工程であることが功を奏し、私の価値観はゆっくりと更新され、そこで自ら抱え込んでいた弱点は有力な手段となりうることを知ったのです。この道に進む決起となったのが、あるダンス作品との出会いでした。普段着に近い衣装を着た数名の身体が舞台上で躍動し、支え合い、個であるためには他者とのような距離感を心がければいいか。人と人で描かれる絶妙なバランスは、私には他者との関わり方についてのすべての答えが書かれた教科書の様で、この良質なバランスが興ず学びを多くの人に伝えたいと思いました。そして服を学びを伝える手段として考え、保持している技術と知識をさらに活かせる道として選んだのが舞台衣装でした。

ファッションとは、時代との対話を経て未来への提案を行うことであり、服を作る行為は、形と素材が互いに高め合う方法を探し当ててやることなのだと思いません。すべての素材にはそれぞれの特性があり、触れたり距離を取ったりして、実験を繰り返して様々な角度でひとつのモノを現象として捉え、あるべき形へと昇華させます。

同じように、人にもそれぞれ特性と美学があります。勿論、それはあなた自身の中にもあるでしょう。

服作りを熟知することは、自分という素材と向き合い、分析し、どう社会に役立てて行くかを知る手立てとなります。そして、その試行錯誤から自分だけの言葉が生まれ、それは服と言う境界線を越えて、より大きな世界での出会いや活動の場へと拡がります。

ファッションを学ぶことは経済的な循環とその仕組みや手法を学ぶ側面もありますが、そのためにはこの対極にある作り手と受け手の精神の循環やその哲学を知ることが必要不可欠です。

金沢には国内外からも注目を受ける最新鋭の現代美術がいつでも手の届く所にあり、また、伝統工芸・芸能・建築、そして食文化などの伝承があります。新旧の文化がバランス良く住民の生活の一部として存在し、それ自体が観光資源として経済的／精神的循環をもたらしている稀有な土地だと思います。

この文化資源の国内外へのアプローチとレスポンスを生活の中で体感できることは、自らが持つ資源を活かす手法を得る何よりの生きたヒントとなるでしょう。



京都生まれ 石川県金沢育ち。フランス国家認定上級技術者資格取得者。ESMOD PARIS を卒業し帰国後、1999年より衣装製作チームにて6年間バタンナーとして経験を積んだ後、独立。ダンス、演劇、現代美術の現場で多様な価値観や表現と関わることで、技術と感性を拡げて来た。デザイン→型紙→縫製の一連の作業を総括し、スタイリングやリメイクなど様々な手法を用いながら作家と共に作品を高める制作方法を実践する。近年は、衣装ワークショップファシリテーター、金沢文化服装学院 特別講師、芸術文化に根ざす地域活性と人材育成事業での講師など、言葉で伝える場にも積極的に立つ。



北陸ならではの歴史あるまちで学ぶファッションの形

宮浦 晋哉 (上)

Secori Gallery / 代表

下山 和希 (下)

セコリ荘 金沢 / 代表

アパレル造形デザイン科 コンセプトメイキング担当講師

宮浦 晋哉

2011年、杉野服飾大学卒業後渡英して、London College of Fashion に進学。在学中のコンペをきっかけに、日本のものづくりの創出と発展を目的とした「Secori Gallery」を創案。日本ファッションブランドを集めた展示会を開催。帰国後、国内の生地産地をまわり始める。2013年、書籍「Secori Book」を出版、コミュニティベース「セコリ荘」を立ち上げる。キュレーターとして産地活性、職人とデザイナーのマッチング、ブランド立ち上げ、産地ツアーのコーディネートなどを行う。産地工場の取材を織研新聞、Colocal、JFW 公式サイトなどで連載中。

下山 和希

2012年杉野服飾大学専攻科卒業。在学中は装発賞・Tokyo 新人デザイナーファッション大賞・JFA ファーデザインコンテストに入選。名古屋ファッションコンテストではグランプリを受賞。学生時代に培った企画力を活かし、卒業後は株式会社アンビダックスに入社。ユニセックスブランド「IAMI BOYGAL」の企画を担当。2014年退職後、「Secori Gallery」に参画を機に、金沢へ移住。長い歴史のある石川県で、加賀友禅や組紐などの職人技術の取材を始める。2015年から金沢文化服装学院でデザインの授業を担当する。

学生の頃は東京でしかファッションを学ぶことができないと思っていました。

常に新しいものが生まれ、発信され、流行の最先端を追うことがファッションの面白さだと感じていました。街を歩く人、店頭のショーウィンドウ、電車の中刷り広告、毎日何かしらの形で新しいコトを知ることができました。

きっと東京に憧れを持つ学生さんは少なからずいると思います。確かに、東京に比べると地方はファッションに触れることができる機会は少ないかもしれませんが、皆さんが暮らす街の魅力を再発見してほしいと思います。

ファッションを学ぶということは必ずしもファッションに触れることだけではないのです。独自の文化と共に日本古来の歴史を継承し続けた金沢には今も尚、形を変えずに残る建築物や伝統工芸、生活様式があり、その中の様々なところにファッションに繋がるヒントが隠れています。更に北陸は世界のファッションブランドのクリエーションを支えている日本有数の繊維産地の一つです。生産現場が身近にあり、高品質の素材に触れることができるのはファッションを学ぶ上でとても好条件の土地だと思います。金沢の独自の文化と北陸の最先端の技術と学生さんの豊かな感性が交わることで、他の場所では生まれない新たな才能が育っていくと感じています。そして北陸新幹線の開通を期に新たな風が吹き込み、更なる飛躍と発展の追い風になると思っています。北陸独自のファッションが誕生することを期待しています。

最後になりますが、学生さんにメッセージを送らせて頂きます。

夢を抱いて入学し、楽しい学校生活。希望の会社と仕事に出会って就職。そんな道を辿れるのは稀なことです。

学生の頃は思い通りにいかず悩むことも多いと思います。そんな時は沢山の人と会って沢山の意見を聞いて自分の道を選ぶと良いと思います。様々な人の考えに触れ、選択肢を広げ、少しずつなりたい自分を模索して行って欲しいと思います。自ら行動することで、進みたい将来が少しずつ見えてくると思います。それが明確になったとき、後は自分を信じてがむしゃらに突き進んで欲しいと思います。今度はそんな姿を見て、応援をしてくれる人がいつの間にか自然とあなたの周りに集まってくる。そんな人たちに感謝を忘れないで、助けをかりながら、限られた学生生活を全力で夢に向かって突き進んでほしいと思います。



感性を磨く心構え

水野 雅己

ファッションイラストレーター

イラストレーション担当特別講師

1971年 石川県生。1994年 文化服装学院アパレルデザイン科メンズコース卒業後フリーランスファッションイラストレーターとして東京を中心に活動。国内、海外のファッショントレンドマガジン、アパレルブランドなどからの依頼のもと、多数の作品を提供。ファッション専門学校では 文化服装学院他、非常勤講師として活動中。



PCK UP LONDON OLYMPIC 2012レスリングウェア イラストを担当。



皆様がこれからファッションを学ぶということは服を造るだけではなく誰かのライフスタイルを提案する多様性を考え企画にまとめる能力が大切になります。

テーマ(課題)を基にデザインテクニックを習得しながら自分のデザインイメージが作品になった時の喜びは次の作品の向上へ繋がります。私がこれまでデザイン画の指導をしてきて20年になりますが海外からの学生達も含め質問を受ける中で多くは「どうしたら上手くなれますか?」です。その答えは一言では説明できないのですが学生時代にアントニオロペスという世界のトップイラストレーター作品に感動し自分もこのように描きたいと憧れを抱いたのがきっかけです。それから私自身どのように練習してきたかと言いますと図書館で借りてきた好きなイラストレーターやデザイナーの描く作品集を見て真似て描き続けました。何枚描いたかは分かりませんが納得いくまで、できるまで毎日練習し描きました。この「どうしたら上手くなれますか?」に対して伝えたいのは何枚練習したらから上手くなるのではなく、できるまでが練習ということです。そして納得いったデザイン画は先生や友達に見せて様々な感想やアドバイスを受け、また描き、見せる行為を繰り返して来ました。見せる行為はとても重要です。誰に見てもらっても大切ですが、プロや素人それぞれの意見は自分の感性を磨くための客観的材料になるからです。感性を磨く途中、時に人からの意見は制作の妨げになることもありますが、その練習と努力の先には必ず作品に個性と共感性が伴ってきます。その結果、多くの人から「上手い」と言われるわけです。

しかし個性と感性は授業で習う部分ではありません。自身で行動してその反応と結果を体感し次に活かすことの繰り返しを磨くということです。

学校は習う以上にそういった見せるというプレゼンテーションの場、感性を磨く場所でもあります。1クラス20名という理想的な教育環境も丁寧な指導の中で「諦めないこと、続けることの大切さ」を学び学生個々に仲間との信頼関係が生まれ技能上達と共に理想とする新しい自分を見つけることができると言えるでしょう。

また、金沢でファッションを学ぶ学生達は北陸の地場産業と歴史的伝統文化を学びながら独自のアイデンティティを確立することができます。アイデンティティを持つという意味はアパレルでも社会人としても本質の大切なこと。自分に足りない所ではなく自分に有るものを意識できること、他人と比較するのは無く、他人の良い部分を学ぶ心を持つことができる人間になることです。

そして人とのコミュニケーションがネットワークに繋がり進路の幅が広がり就職先で信頼される社会人になると考えています。そして金沢文化服装学院では服造りのデザインテクニックとファッションビジネスのカリキュラムのバランスが理想的に組まれています。洋服のデザインセンスや技術だけでは世の中に浸透して行きません。その洋服の価値観をどのように世の中に浸透させるかを考えるビジネスセンスまで学べると感じています。

私の授業の特徴は感覚的な部分を客観的にシンプルに分かりやすい言葉での説明から始めています。理由は頭の中のアイデアを相手に伝える(イメージを共感させる)ことがデザイン画の目的でそれを学生の皆に習得させることを役目としているからです。学生皆さんの能力を導きその作品に感動できることは私自身とても嬉しいです。講義で合える日を愉しみにしています。是非、一緒に頑張りたいです!



好きこそものの上手なれ

岡崎 素子

Shinzone / バイヤー

ファッションビジネス科 バイヤー特論担当特別講師

1997年1年間英国留学。2003年フェリス学院大学文学部英文学科卒業後、株式会社三越入社。三越銀座店にて婦人服販売、店舗開発(リニューアル企画)、婦人服飾雑貨バイヤーを経験。在職中、IFI ビジネススクール ファッションマーチャンダイジング(半年間)コース修了。2008年株式会社シンゾーン入社。アシスタントバイヤーを経て2011年より現職。

タイトルの「好きこそものの上手なれ」。私はこの言葉を信じてファッションを仕事にしています。ファッションに限らず「好き」という気持ちは強い感情であり、どんな仕事をする上でもモチベーションに繋がると感じています。

私自身ファッション業界で働いてから11年しか経っておらず、まだまだ未熟者ですが、私の経験談がひとつのケースとして、ファッション業界を目指す皆様に少しでもご参考になれば幸いです。

大学生の時の就職活動を始めた時は「色々な人に出会える仕事がいいな。(高校で英国留学したため)英語を使った仕事をしたいな。」という漠然とした思いしかなく、様々な業種の企業への入社試験を受けました。OG訪問で百貨店の三越でバイヤーをされていた方のお話を伺う機会があり、「バイヤーという仕事はそれが叶いそうだな、楽しそうだな」と思ったことをきっかけにバイヤーを目指すようになりました。運よく希望通り三越に入社して婦人服の売場に配属されてから「ファッションが好き」「ファッションって楽しいな」という気持ちが強くなり、その想いだけで自分を駆り立ててきました。どの仕事においてもそうだと思いますが、仕事には雑用とも思えるような地味な業務が多々あります。特に新入社員の時ストック整理、掃除、伝票仕分け、納品・返品作業という裏方の業務が主でした。その時はバイヤーの業務とはほど遠いと感じたものですが、いま振り返るとその業務ひとつひとつが小売業にとっては大切な基礎であり、無駄な経験はひとつもなかったと思います。そこで気持ちがぐじけて辞めてしまう人たちも見てきましたが、とにかく諦めない気持ちが大切だと実感しています。同じ目標を持っている人たちが大勢いるなか、どうやったらバイヤーになれるのか、いま自分にできることは何なのかと自問自答しながら行動してきました。たとえば休日を返上してバイヤーに「展示会に連れて行ってください」と懇願してアピールもしました。そしてその時に与えられた業務はがむしゃらになって取り組みました。お給料がマイナスになるくらい洋服、靴、バッグを買い漁り、会社や親からも怒られ、失敗もたくさん経験しました。若い時は失敗も恥ずかしくないですし、それも自分の糧になります。失敗を恐れず、情熱を持って図々しいくらい積極的になってほしいと思います。日々バイイングをさせて頂いているなかで、情熱と愛情を持ってものづくりをされている方たちに出逢うことがあります。その方たちの魂がこもった物に出会った時の感動を得るたびに「この仕事をやって良かった」と思わせてもらいます。そんな素敵な物や人との出逢いがあることがこの業界で働く魅力のひとつです。

ファッションに携わる上で大切な要素ある「感性」が、金沢では磨きやすい恵まれた環境にあると思います。独自の文化や歴史を持ち、金沢21世紀美術館や兼六園など芸術的な場も身近にあり、街自体が世界的に見ても美しいこの場所でファッションを勉強できるということは皆様にとって強みになり、アイデンティティになること間違いありません。ファッションへ強い情熱と愛情を持つ皆様にお会いできる日がくることを楽しみにしております。





ファッション業界を担う 自覚と覚悟を持って、 飛び込んできて

光成 正人

Branding and Design TOTEM / 代表

パレル造形デザイン科 / ファッションビジネス科
スタイリストワーク担当講師

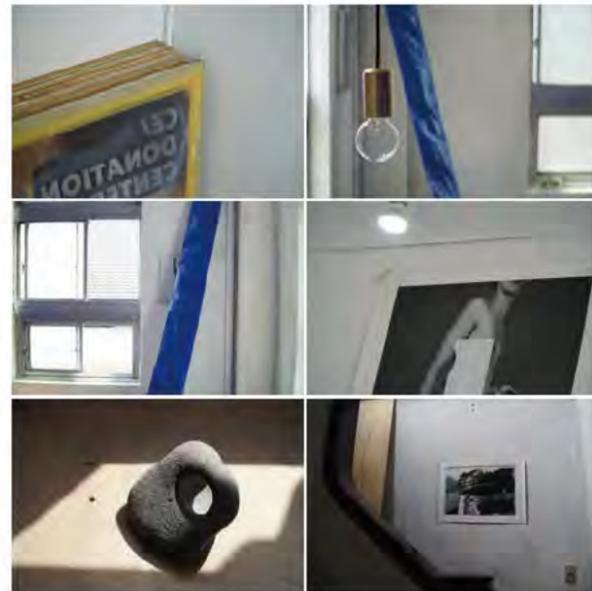
私は現在、金沢を拠点にブランディング・デザインを軸にデザイン事務所を運営しています。メディア環境も変わり、コミュニティやプロモーション、デザインというフォームの意味や役割も大きく変わっているのを日々感じております。もちろんファッション業界も同様だと感じています。製品の製造工程、プロモーションの手法、販売・仕入れの仕組み、全てにおいて経年変化し続け、個人をみても様々な要素を求められる時代だと思えます。

私は現在に至るまで、東京を拠点に21歳から約12年間、海外のファッション・インテリアをベースに北米・欧州を往来するバイヤー業を務めていました。ファッションとしての製品はもちろんですが、様々なカルチャーに触れることで独自視点と平行に社会に目を向け、先見性を持って多様な視点からバイイングすることを心がけてきました。それは、現在の業種にもとても活かされていて、フィールドが変わっただけで同様に感じます。

金沢文化服装学院では、大きくアパレル造形デザイン科とファッションビジネス科に分類されますが、更に細分化したカリキュラムが多数行われます。そこには実社会に出て役立つ仕組み・考え方・捉え方、目に見えない感性をも養うカリキュラムが存在するのはとても良い環境下であると感じます。

世界規模で見てもここ金沢で養う意義・意味はとて大きく、モノづくり産業、伝統工芸やアート文化なども非常に豊かで充実した環境化で、自身の想いや抱きが大きければ大きい程、羽ばたけると思っています。これからのファッション業界を担う自覚と覚悟を持って、飛び込んできてほしいと思います。

金沢文化服装学院では、より身近でよりパーソナルな講師でありたいと思います。校内でお会いできることをとても楽しみにしております。



1978年生まれ。東京 / 金沢を拠点に21歳から約12年間、北米・欧州をベースに海外のファッション・インテリアのバイヤー業を務める。その後、フリーバイヤーに転身し、スタイリスト、ファッションディレクターとしても活躍。08年から金沢に帰郷し、バイヤー業以外でも数々の企画からストアブランディング、ディレクションに携わる。社会と世界を観察して新しい問題を発見し、あらゆるメディアや分野を並列で咀嚼し、2016年に金沢を拠点にブランディング・デザインを軸に「TOTEM」を設立。現在、様々な企業のアデザイン全般から映像のPR、インテリアデザイン、企画などのクリエイションに従事している。



金沢でしか学べないことは 世界が求める次世代の「何か」

成瀬 美子

フリーランスデザイナー・パタンナー

アパレル造形デザイン科 / ファッションビジネス科
ファッション史担当講師

日本人が洋服を着るようになってからまだ100年余りです。何千年も洋服を着てきた西洋に比べて日本の洋服の歴史はとても浅いものです。洋服の文化が日本に入ってきてからあらゆるファッションが海外から輸入されましたが、見たこともないディテールに日本人は目を丸くし、センセーションが起こり、日本人に似合うよう解釈され、一般に楽しまれるようになりました。はじめ受け身だった日本のファッションは徐々に意思を持ちはじめ、やがて日本からも発信されるようになり、そして今や日本のファッションは世界が目にするものとなりました。

何故今日本が目目されるのでしょうか。

目まぐるしく変化し繰り返されてきたファッションはあるときから「出尽くした」空気が漂い始めました。何をやっても過去のものを超えることが難しくなっただけです。長い間ファッションは大きな旋風を起こすことなく静かに平坦な時を過ごしてきました。そんな行きづまりの中、また新しいものが見たい！着たい！という欲求が動き始めたとき、視線は日本に向けられたのです。独特の伝統文化、アニメなどのサブカルチャー、日本の持つポテンシャルに世界は新しい何かを求めているのではないのでしょうか。これからファッション業界、特にクリエイターを目指す方にはチャンス到来と言えるでしょう。今世界は日本から発せられるクリエイションに期待し注目しているのです。

私は二年前に金沢に移住してきたばかりです。加賀百万石の伝統文化や美意識は北陸に住む皆さんにとってはごく身近なものかもしれませんが、初めて触れる者にとっては大きく心を揺さぶられるものがあります。モノづくり文化の根付く土地に育った皆さんをうらやましく思うのです。これはこの先新たにモノやコトを生み出してゆくに大きな強みになるはず。日本の中でも特に日本らしい土地、金沢でしか学べないことは世界が求める次世代の「何か」なのかもしれません。



文化服装学院卒業後、カネボウシルクエレガンス(株)入社。クリスチャン・ディオールの下着のデザイナー、パタンナーとして従事。退社後は舞台衣装などを経験し、2014年に金沢に移住。現在、金沢文化服装学院でファッション史と社会人のためのクリエイションクラス・キャリアカレッジにて講師を務める。

MESSAGE FROM GRADUATE

夢を追いかけて

卒業生から
受験生の皆さんへメッセージ。
カナブンで学んだことや思い出、
社会人になって
学んだことなどが盛りだくさん!



山科 俊貴
セレクトショップ koko / 代表

ファッションビジネス科 2005 年度卒
石川県立寺井高等学校出身

母親がアパレルショップを営んでいたこともあり、幼少期より自分のショップを持つことが僕の夢でした。そのためにもアパレルの専門知識を学びたいと思い、金沢文化服装学院に入学しました。学生時代はファッションやアパレルに関する専門知識・技術はもちろんのこと、同じ志をもった仲間達との2年間はとても有意義な時間だったと思っています。

卒業後は母が経営するショップのバイヤー兼店長として勤めて参りましたが、長年の夢でもあった自分のセレクトショップをオープンしました。こうして、幼い頃からの夢であった自分のショップを持つことができたのは途中で学んだマーケティングやセールスプロモーション、事業計画書やプレゼンテーションスキルなどを活かすことができたからだと思っています。

現在、金沢文化服装学院にご入学をお考えの方々に、僕からお伝えできること。それは「好き」という気持ちを大事に持ち続け、一生懸命夢に向かって進んでいけば、夢は必ず叶う」ということです。そのための知識、経験は必ずや途中で学ぶことができます。是非皆さん一緒に盛り上げていきましょう!



山岸 蓮
株式会社シンゾーン / 販売員

ファッションビジネス科 2013 年度卒
石川県立金沢商業高等学校出身

私は今、東京の新宿で販売員をしています。シンゾーンという会社を知ったのはバイヤーの岡崎さん(P.O.O)が、村上学院長が以前働いていた職場の同期ということで、カナブンに来て下さり、1日講師をして頂いたことがきっかけでした。地元か? 東京か? といったように、就職先を選んでいた私に、まさかの出会いでした(笑) 先生や仲間の後押しもあり、東京に出る覚悟を決め、受験させて頂き、合格することができました。平成28年4月で入社3年目になります。

在校生や今からカナブン生になる方に言いたいことはカナブンはまだ見ぬ出会いがあるということです! 同じ思いが集まった仲間や、たくさんの知識を持った先生方、お洋服が好きならば是非金沢文化で学んで欲しいです。今はカナブンで吸収した知識をベースに、「毎日が学び」という意識を常に意識しながら、ファッションの最前線: 東京は新宿で働かせて頂いております!



山本 永里子
株式会社 T-PLANNING / プレス

ファッションビジネス科 2008 年度卒
石川県立金沢商業高等学校出身

私はカナブンを卒業してから、アパレルとは程遠い職種の仕事をしていた時期もありました。突然、自分が本当にしたいことはこれなのかな? と考えるようになった時、学生時代に気になっていた「プレス」という職種が頭をよぎりました。「プレス」について調べうちに、どんどんプレス業の魅力にハマっていききました。でも、プレス業は極めて狭き門。面接は10社以上、受けては落ちるの繰り返しでした。いつもの私ならすぐに諦めていたのですが、「プレス」になりたいという気持ちが強く、根気よく挑戦し続けていたら、ようやく今の会社で「プレス」として再スタートすることができました。何事も、諦めず続けていけば、できないことはないのだと実感しました。今は雑誌やSNSを使ってたくさんの人にブランドを知ってもらえるようPRをしています。地味な作業が多いですが、担当しているブランドが、雑誌やwebニュースに大きく取り上げられた時の嬉しさがたまりません。皆さんの本当にしたいこと、夢が叶えられますよう、応援しています!



清水 早綾
株式会社ラリー / 販売スタッフ、バイヤー

ファッションビジネス科 2010 年度卒
石川県立野々市明倫高等学校出身

私は現在、セレクトショップの販売スタッフとして働いています。入学時の目標であったバイヤーとしての仕事もさせて頂き、毎日楽しく過ごしています。

学生時代は文化の仲間といることが楽しく、誰かが一歩先へ進めば「私も頑張ろう!」と思える原動力になっていました。それは今でも変わらず、それぞれの場所で頑張っている文化の仲間の変を見て励まされています。

文化では社会に出て行くために必要な知識や技術を学べるのはもちろんですが、同じ志をもった仲間に出会える貴重な場所だと思います。沢山学び、そして沢山の楽しい時間を過ごして下さい。





中村 裕一

保存食専門店 stocck / 店長
siteki / クリエイティブディレクター

ファッションビジネス科 2005 年度卒
石川工業高等専門学校出身

コレを読んでいるあなたはきっと「ファッション」もしくは「アパレル」に「興味」があるかと思えます。偉そうに言うのも恥ずかしいので終始一般論になるかと思うのですが、「興味」があるのなら「学ぶ」のがいいのではないのでしょうか？ひたすらこもって独学でもいいし、どこかに所属してもいいし、何か違ったのなら途中でやめればいいです。その都度本気で考えれば後悔なんかしません。「学び」の語源は「真似び」です。誰かの真似を一定期間、本気でやることで、あなたのオリジナリティは放っというも勝手に出てきます。そして「学ぶ」ということは、自分の世界を拡張することです。「知る」ということは、その入り口です。その入り口で鉈を切るのがパーソナルな「興味」ではないのでしょうか？どこに広がりを持ち、どこを引き締め、どこに遊びを入れ、どこで終えるのかは洋服作りでもファッションビジネスでも自分の生活でも「デザイン」することに変わりはないと思います。



中谷 ちひろ

flamingo 京都店 / 販売

ファッションビジネス科 2012 年度卒
石川県立工業高等学校出身

私は現在、アメリカ古着を扱う古着屋「flamingo」京都店で働かせて頂いております。古着が大好きだった私は、古着屋で働きたいという思いが常にありました。京都での暮らしは私にとって、チャンスの連続でした。様々なファッション団体に snap を譲られましたし、その内の 1 つから加入の誘いを受け、編集という役割に就きました。また、美容師の方からモデルの依頼を受けることもあり、コンテストやショーに出させて頂いたり、企画側としてイベントを開催したり、逆に呼ばれたり、ファッションショーや物販、snap 撮影…。今振り返ると、本当に様々なことを経験しましたし、真欲に挑戦をし続けたからこそ、繋がりがグンと増えました。しかし、ここまで辿り着くことができたのは私にはファッションというツールがあったからだと思います。私は今もカナプンのことをよく思い出します。楽しかった仲間との思い出は勿論、学んだことは仕事先だけでなくこの地で経験した様々なことに役立ってきました。同時に、持っている知識や技術は 1 つもないんだと感じました。カナプンはファッションが好きという素晴らしい共通点を持った者達と共に学ぶことができる、とても素敵な場所です。



新濃 利康

株式会社 クレイワークス / パタンナー

アパレル造形デザイン科 3 年 (現デザイン専攻科)
2008 年度卒
石川県立金沢中央高等学校出身

在学中とにかく誰にも負けたくないという気持ちでいっぱいでした。それは私が優秀な学生ではなく、縫製の上手さ、パターン力、デザイン力、プレゼン力、どの能力においても必ず自分より優れた学生が一人以上いたからです。当時はとても悔しい思いも沢山しましたが、私にとって自分より優れた彼らは「悔しい」と私に思わせ、向上する努力をするための大切な「仲間」でもありました。彼らと共に技術と感性を磨き、同じようにファッションの中で生きることを目指しました。服作りの技術や感性を学ぶことは目指す所が高ければ高い程、苦しさも伴うこととなります。しかし、悔しい思いや苦しい思いをしながらも隣を見ればいつも負けたくないとさせる「仲間」がいて、何も言葉になくとも励まされてきました。卒業した今、学校で得たと感じるものは「仲間」と確かな「技術」です。私は卒業した後、海外で仕事をしてきましたが、やり方も違えば中々で仕事をしなければならなかった時、学校で教わった知識と技術があったからこそ、上手く対応し、仕事をこなすことができました。服作りに関することは細かいことが多く、その一つ一つが美しい服を作るためには重要なことで、アイロンのかけ方から、トルル組みのピン打ちの間隔から角度にまで厳しい指導が入ります。その先生方の厳しい指導があったからこそ今の自分がいると思っています。ファッションで生きて行くには覚悟がいらいます。しかし、専門学校に入学を決めたあなたは既にそのハードルを一つ越えています。既に私のライバルです。私はあなたにも負けたくないと思っています。あなたも是非、私に負けたくないと思って下さい。そうあなたが思った時、私にとってあなたは大切な「仲間」の一人になっています。



藤田 悠人

(クルーンアソング銀座マロニエゲート本店 / 銀座店副店長、メンズアシスタントバイヤー)

アパレル造形デザイン科 3 年 (現デザイン専攻科)
2010 年度卒
遊学館高等学校出身

在学中、とにかくがむしゃらに服を作りました。1 着作ることに、その過程で新たな発見があり、先生方からは良い服とはどんなモノなのか？、良いモノとはどんなモノなのか？、ということ学びました。今はクルーンアソングというセレクトショップの銀座本店で副店長をやりながら、メンズのアシスタントバイヤーとして、年に二回ヨーロッパへ、また、展示会シーズンには国内ショールームを回っています。その際に、在学中に得た服作りの知識が活かされていると強く感じています。二年間 (専攻科だと三年間) の短い時間の中で、どれだけ沢山の服を作れるか、見られるか自分のスタイルや服作りの魅力が見えて来るので、自分の【好き】や【夢】をモチベーションに変えて真欲に服と関わって下さい。



飛山 桃子

株式会社 ユナイテッドアローズ /
ウイメンズプレスアシスタント

ファッションビジネス科 2012 年度卒
富山県立富山北部高等学校出身

私は現在、グリーンレベル リラクシングのプレスアシスタントとして本社 (東京) に勤務しています。それまでは同じブランドの金沢店で、販売員として売り場に立っていました。プレスという仕事は中学生の時から夢で、その夢が実現するきっかけとなったのが社内公募です。入社して2年半の時にプレスの社内公募があり、このチャンスを逃したら絶対に後悔すると思い、送ることなく応募しました。私はいつも「プレスになりたい」と色んな人に伝えていました。自分の中で留めてしまうのではなく、誰かに伝えることで、ただの夢ではなく「実現したい」という気持ちが強まり、家族、友人、周りの人達も応援してくれました。その中でも、カナプンで出会った仲間や先生方には特に応援して頂いています。同じアパレル業界で働いている仲間の存在はとても大きく、カナプンの卒業生で良かったなと1番感じるところです。私のようにいつチャンスが訪れるかわかりませんが、夢は決して遠い存在ではありません。どんどん口に出して夢に向かって頑張ってください。応援しています!!



高木 晴

株式会社 三陽商会 / 販売職

ファッションビジネス科 2014 年度卒
富山県立富山商業高等学校出身

私は現在株式会社三陽商会に就職し、AMACA (アマカ) JR名古屋高島屋店でファッションアドバイザーをしています。今まであまりお話しする機会がなかった、年齢層の高いお客様が多いショップということや、慣れない百貨店でのお仕事ということもあり、不安な気持ちがありました。カナプンで2年間学んできたことをベースに、新入社員フォローアップ研修、新人 1 人を先輩 1 人がサポートする OJT 制度を通して、よりよい接客を目指しています。カナプンで学んだことはしっかり仕事に活かしています。私は元々計算が得意ではないのですがショップ計数で学んだ計算式は、毎日業務に必要なため、計数の授業で理解しておいた良かったと思っています。セールスワークの授業では実際に売り場で使える接客術や電話対応などを学びましたが、本当に売り場で役立ちました!おかげで度胸もつきました。年に一回開催される『リリィVSカナプン 接客ロールプレイング大会』はとっても緊張しますが、出場すると良い経験になると思います。大好きなお洋服を扱うお仕事はとても楽しいです。ファッションが大好きな在校生や新入生、高校生のみならず、是非夢を叶えて下さい!



稲垣 舞

株式会社 カメダ / 縫製

アパレル造形デザイン科 3 年 (現デザイン専攻科)
2011 年度卒
高岡龍谷高等学校 (富山県) 出身

私はカナプンで3年間学び、多くの知識と自信を得ることができましたが、モノづくりの道に進んでみて、学生時代に培った経験や知識にまだまだ足りないものがあると気づかされる日々です。学生時代にもっとこんなことをやっておきたかった、こういうこともできた、と少々後悔があります。皆さんにはこれからの生活で沢山のものを見て、触れて、経験して、自分の好きや興味を増やして欲しいと思います。一つのやりたい明確なことを見つけ、その道に向かって進むことも素晴らしいですが、その道でも様々なことに触れていくことによって新しい感性や興味・関心を持つ分野が増えるかも知れません。また、皆さんにはそれと同時にそれを経験する時間を大切に感じて欲しいと思います。私は学生の頃は課題が多過ぎて辛いと感じることが多々ありましたが、今思えば好きなモノを作れて、多くのことを余裕を持って考えることができるのはあの時だけだったと感じます。もちろんその時その時で忙しい、余裕がないと感じるのは当たり前ですが、学生の時間というものにはとても貴重で一番色々なことに手を出せる時間です。皆さんにはこれからの学生という時間を、目一杯楽しんで有意義に過ごしてもらいたいと思います。学生の数年間は長いようであっという間ですよ。



野村 和広

ヒット工業株式会社 / 営業企画チーム所属
worth / デザイナー

アパレル造形デザイン科 (現デザイン専攻科)
2012 年度卒
京都産業大学卒業、福井県出身

勤めていた会社を辞めてもう一度学生になるという選択は、結婚して家庭を持っていた私にとってとても大きな決断でした。10 代の頃から「ファッションを学びたい」という欲は、大きくなり小さくならないを繰り返しながら常にあり続け、「後悔したくない!やってみよう!」と一歩踏み出す決心をした時、私は 30 歳でした。期待 10%不安 90%で始まった私の学生生活は、私が想像していた以上に大変でしたが、想像していた何倍も楽しく実りある日々でした。私は何をやるにも時間がかかるタイプで、課題との格闘で精いっぱい毎日でしたが、先生方の丁寧な指導や若い同級生達の助までなんとかやりきることができました。初めはキラキラ楽しい 10 代の中におっさんがひとり…といったどんな日々になるのだろうと想像も難しく不安でしたが、同じ「好き」を持った人間の集まりに年齢は関係ありませんでした。共に頑張った同級生達とは卒業した今でも親交があり、制作を手伝ってくれる心強い仲間もいます!卒業後、アパレル会社に再就職することができた私の現在の目標はオリジナルブランド worth の制作・販売です。昨年は多くのお客様に商品を見ていただくために、カナプンイベントのサポーターとして運営に参加し、オリジナル商品で出店も行っている雑貨 × 作家マーケットへ worth も出店することができました。作った商品に対するお客様の反応を直に見聞きし、一番一番の二日間でしたが、今後の活動にもつながる良い出会いもたくさんありました。今後、面白いことができそうな予感がしています!!!カナプン入学当時はオリジナルブランドを立ち上げるなんて遠い夢の域でしたが、今では夢から目標へと変わり、確実に近づいています。遠い遠い夢に、少しずつ近づいて、目標にしてくれたカナプンでのかけがえのない 2 年間に本当に感謝しています。



鳥居 佳奈

株式会社モンスター / パタンナー

アパレル造形デザイン科2013年度卒
石川県立金沢西高等学校
石川県農業短期大学(現:石川県立大学)出身

私は一度社会人となったのですが、日々の中で「本当にしたいことは何か」と考えた時、服作りしか考えられませんでした。そんな時に出会えたのが、このカナブンです。年齢は違えども、同じ方向をむいて時間を共有したクラスメイトや先生の存在は、今の私の大きな支えとなっています。そしてこの学校には、全力で背中を押してサポートしてくれる先生たちがたくさんいます。思い返せば、勉強できること、仲間と会えることが嬉しく、学校に行けることが楽しくて仕方なかった日々でした。

現在の職場では、まさに店頭と並ぶ商品が目の前で作られています。生産現場で長年培われてきた経験と技術、そしてスピード感に日々圧倒され、毎日が勉強ですが、その技術と経験はこれからの自分の最大の武器になると信じています。道のりは長くどんなに大変でも、自分の好きなことが仕事になる喜びは、計り知れません。

限られた時間の中で、何を誰とするか。自分が思い描く理想に、自分の望む場所に向かって一緒に踏み出しましょう。



桶田 絵梨香

～vintage&select～
CORPO CIRCUS 代表

ファッションビジネス科2004年度卒
石川県立工業高等学校出身

私は小さな規模のお店で自分の好きな物をセレクトし、販売するのが夢でした。そんな夢が叶った今、カナブンでの経験で活かされていることは、授業を通して教科書だけでは学べない現場の「リアル」を体感できたことです。私にとって、服の知識を学ぶ以上にファッションビジネスの「生」を感じられたことがとても大きかったと実感しています。心から楽しいと思える仕事ができ、今では笑顔の毎日です。

人間の感覚の中で最も大きなのは視覚です。視覚は、印象に残った物だけを記憶するようにできているようです。この学校で、とにかく色々な新しいものを物を見て、見て、見続け、記憶を増やし、感覚を鍛えていって欲しいと思います。

正解も不正解もない「ファッション」という分野ですが、人生を豊にするツールの一つということでは確実に言えると思います。服を作る側も売る側も「服」という単なる物質を売っているのではなく、その裏側にあるものを提供できることにファッション業界の楽しさはあるのではないのでしょうか？



尾山 洋平

KINFOLK
/マーケティング、フォトグラファー、デザイナー、
ファッションビジネス科2004年度卒
石川県立津幡高等学校出身

「好きなことで生きていこう！」今でも変わらないキーワードでもあるシンプルな動機からファッションの道を選びカナブんに入学しました。自分がこれまで出会ったことがない様なファッションスタイルの人が多く、今まで生きてきた世界と違う、別世界の入り口が開かれた、衝撃的な仲間との出会いは今でも忘れはしません。授業では専門的なことから現場で使う実践的なことまで、沢山の基礎を学ぶことができ、そのことが今の仕事でもベースとして役に立っていますし、何より、大好きなファッション漬けの毎日だったので本当に幸せな学校生活でした。

アパレル1つとっても、デザインから製作、販売まで様々な人々のストーリーが1つのプロダクツに集約されています。そして手に渡った後も、またストーリーが続く魅力的な分野の職業だと思っていますし、その様なストーリーに携われることが、アパレルの仕事する上で醍醐味だとも感じます。

卒業後は独立するための準備期間として企業に就職し、自分で決めた目標達成後に仕事を辞め、リアルな現場を経験するため単身渡米しました。NYでマーケティングとスタイリストのインターンも受け、帰国後はパラレルキャリアを生かし、フリーで仕事をしています。今でも年の1ヶ月程は海外に出向き、リアルな現場を直接肌で感じに行きます。第一線で活躍されている方との会話はいつもクリエイティビティが高く、フレキシブルで、自分の仕事に大きく影響し、役立てています。

僕が在学していた頃の10年前と時代はもの凄く変動し、どんな人でもチャンスものにしやすい時代になりました。好きなことや得意なこと、やってることも、直ぐに地球の裏側まで届く、ひと昔前まではありえなかったことがありえる最高な時代を僕達は今、生きています。

在学中でも、学校っていう名のフィールドを使い、自分達の想いや、今やってることなどをガンガン世界に向けて発信したらどうでしょうか？学生でしかできないこともたくさんあります。全ては行動からです。とにかくやってみる、始めてみることに。

在学中の方、そしてこれたら入学される方に一言、「夢は必ず叶います」。それは夢を計画にすること、やり続けること。そして自分を信じることです。



KINFOLK

2011年アメリカ オレゴン州ポートランドで創刊されたライフスタイル誌。編集長の「ネイサン・ウィリアム」が、25歳のときに友人たち数名とはじめた雑誌。「KINFOLK」の意味は、家族や親しい者を意味する「KINSFOLK」という古めかしい言葉からSをとったもので、雑誌には家族や友人、商人といった小さな集まりという意味の「スモールギャザリング」をサブタイトルに掲げている。食や暮らしにまつわる美しい情景を切りとった写真やイラスト、テキストのレイアウトでつづられるインディペンデントマガジン。写真家、作家、イラストレーター、デザイナーらがチームを組み、食、小さな旅、フラワーコーディネート、コーヒーなどをめぐる生活の風景を美しい写真でつづる雑誌。年4回発行され、第8号では日本特集が組まれました。日本では出版社「ネコ・パブリッシング」より、オリジナルに忠実な日本版キンフォーク『KINFOLK MAGAZINE JAPAN』が創刊され、話題となっています。



瀬川 愛

株式会社バル チャオパニック
名古屋店 店長

ファッションビジネス科2007年度卒
石川県立金沢高等学校出身

私にとって学生時代に出会った仲間、先生方が今私にとって1番の糧になっています。ファッションに対して熱い思いがあり、それを共有できる仲間、相談できる先生方、そうした大切な存在に出会えたのが金沢文化服装学院でした。何年経っても変わらずに話せる仲間が居る、それだけでまだまだ突っ走れる、そんな気持ちにさせてくれます。

学生時代学んだことで今の私にとって最も活かされていることが2つあります。まず1つ目は「センス」です。学生時代はそれぞれにファッションが大好きな仲間から受ける刺激が大きかったです。それに加え、授業で学んだ色彩やPCを使って作るMAP、その感性は販売員にとって大切なことです。2つ目は「数値管理」です。売り場で発生する数値を検証・分析して、それからどうしていくか？「NEXT」を考えていくためには時には感覚ではなく、理論的に実行する力、考える力が大切です。そこから様々な可能性が広がります。授業で学んだ基礎はそうしたことのベースになっています。

今、ファッションの最先端にいるあなたへ。服が好き、おしゃれが好きという気持ちをいつまでも大切にしてください。その気持ちがブレずにある限り、何でもチャレンジしていきましょう。ファッションへの気持ちに、こだわりと楽しさを持ってこれからも一緒に頑張っていきたいと思います！



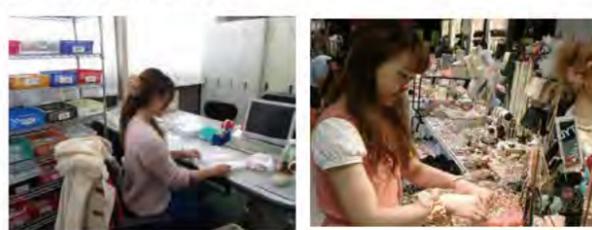
舟貝 理沙

株式会社時女 / 本社仕入部
アシスタントバイヤー

ファッションビジネス科卒業2011年度卒
富山県立桜井高等学校出身

私は現在、アクセサリーの小売企業でアシスタントバイヤーとして働いています。カナブンは在籍時は様々なことに取り組みました。座学はもちろんですが、プランニングや接客のロールプレイング、プレゼンテーションなど、実践的な練習をしていたことが印象に残っています。社会に出てから、あの授業が役立つ、もっとやっておけばよかったと気付くこともありました。

カナブんなら、将来役に立つ知識や力をつけることができます！そしてここで出会える素敵な仲間たちと充実した毎日をお過ごしください！





TRUE PRIDE

あなたらしく生きるためのプライド

「大好き」を学ぶことに決めた

あとは自分が努力するだけでいい

誰も自分にはなれないし、自分は誰にも似ていない

自分は自分

だから自分に責任を持つ

「どんな自分になりたいのか」

「いつ動き出すのか」

と自分自身に聞いてみた

答えは明白

「今やらなくては未来の自分が見えてこない」と

人生は自分で描くもの

だから自分にプライドが持てる未来、

一生懸命ガンバる覚悟ができる

あなたが、あなたらしく生きるためのプライド

それは、好きな世界へ跳ぶための翼です

金沢文化服装学院は一生懸命ガンバる

覚悟のできたファッションистを待っています



COVER MAKING
model: Mayu Ise
costume: Hitomi Wadaira, Jun honkawa, Fumika kitani Mayu Ise with Kazuki Shimoyama
hair: Hideki Murakami
stylist: Jun Honkawa, Fumika Kitani



model: Fumika Kitani
costume: Hitomi Wadaira
hair: Hideki Murakami
stylist: Hitomi Wadaira



FLOWER IN WONDER

カナブン紹介動画

創立 60 周年を記念して学校の紹介動画を制作いたしました。
クリエイティブをしていく中で大切にしたいキラキラした想いや
ひらめきを表現しています。

衣装は卒業生の和平瞳さんが在籍時に卒業作品として制作した色違い2着を用い、
モデルを木谷文香さんが勤めています。

作品タイトル「お花ピンタックワンピース」

今回のテーマは「四季を彩る花」。お花モチーフの生地を探し求めて生地屋さんを巡り、出会った花柄の 2 色
の生地。どちらも素敵で選べず、これは双子スタイルを作るしかない!!と思いました(笑)。柄が華やかなので、
カジュアルなりアルクローズに落とし込むには、とシャツワンピースにすることにしました。ただのシャツワンピ
ースでは面白くないと思い、ヨークと袖の部分にピンタックのディテールを取り入れてアクセントにしました。わたし
は 2 年生のある時期から、プリーツやピンタック、ティアードなどの連続したものに惹かれるようになり、デ
ザインの中に必ずと言っていいほど取り入れています。

和平 瞳 Hitomi Wadaira 富山県立入善高等学校出身 アパレル造形デザイン科3年(現デザイン専攻科)2015年度卒

ACCESS MAP

アクセスガイド

1. 金沢駅東口バスターミナル⑦⑧⑨いずれかに乗車 10 分。
片町下車。徒歩3分。
2. 北陸鉄道石川総線終点野町駅より徒歩7分。

